

《多賀を守り育てる会》防災講話

多賀校区の災害リスク ～ 命を守る行動～

令和7年3月10日（月）

18:30～

西条市経営戦略部危機管理課
地域防災アドバイザー



日本の美しい国土と自然災害

日本は美しい自然に溢れた国
その美しい自然をかたち造る、
変化に富んだ山や谷などの地形
は、地震や大雨などにより作ら
れている

「災害は、自然豊かな国に住む
我々の宿命」(上手に付き合う)

自然災害は繰り返し発生する

河川のはんらん



地震による被害



美しい自然(石鎚山天狗岳)

近年の主な自然災害(地震、風水害)

LOVE SAIJO
まちへの愛が未来をつくる

地震

令和6年能登半島地震



風水害

平成30年7月豪雨災害



岡山県総社市

- 降雨量の変化、台風の強大化などにより豪雨災害が頻発しています。
- 今後、大規模地震の発生が想定されています。

一度災害が発生するとその影響は、人的・物的被害だけにとどまらず莫大な経済損失を発生させ被災生活が長期化

地震

名称（最大震度）	期間・現象等※	「地域独自の名称等」、主な被害
平成7年(1995年) 兵庫県南部地震(震度7)	平成7年1月17日	「阪神・淡路大震災」 家屋の倒壊や火災により大きな被害。高速道路や新幹線の高架にも被害。
平成13年(2001年) 芸予地震(震度6弱)	平成13年3月24日	家屋等の被害や液状化現象が発生。
平成16年(2004年) 新潟県中越地震(震度7)	平成16年10月23日	「新潟県中越大震災」 規模の大きな山崩れや岩盤崩壊が発生し、道路が寸断。河道閉塞も発生。
平成19年(2007年) 能登半島地震(震度6強)	平成19年3月25日	家屋等の被害や山崩れが発生。震度6強
平成19年(2007年) 新潟県中越沖地震(震度6強)	平成19年7月16日	家屋等の被害のほか、山崩れにより鉄道が寸断。震度6強
平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震(震度7)	平成23年3月11日	「東日本大震災」 東北地方を中心に津波により大きな被害。長周期地震動や液状化現象により被害も発生。
平成28年(2016年) 熊本地震(震度7)	平成28年4月14日	益城町（熊本県）（4月14日、4月16日）、西原村（熊本県）（4月16日）で震度7。家屋等の被害のほか、大規模な山崩れが発生。
平成30年(2018年) 北海道胆振東部地震(震度7)	平成30年9月6日	厚真町を中心に多数の山崩れ、道内で大規模停電。
令和6年(2024年) 能登半島地震(震度7)	令和6年1月1日	奥能登地方に甚大な被害が発生

阪神淡路大震災・東日本大震災 の映像（6分27秒）



【風水害】（毎年どこかで発生、予測ができる『**進行型災害**』）

台風・大雨

（防災白書を基に作成）

名称	死者数	「地域独自の名称等」、主な被害
平成27年9月関東・東北豪雨 (9/9～11)	20	「 鬼怒川水害 」。鬼怒川(茨城県)・渋井川(宮城県)の氾濫等
平成28年台風10号 (8/26～31)	29	東北地方に観測史上初めて上陸。岩手県で記録的な大雨
梅雨前線と台風3号による大雨と暴風 (7/5～6)	44	朝倉市・東峰村(福岡県)・日田市(大分県)の洪水害・土砂災害等。※「 平成29年7月九州北部豪雨 」を含む
平成30年7月豪雨 (6/28～7/8)	271	「 西日本豪雨 」。広島県・愛媛県の土砂災害、倉敷市真備町(岡山県)の洪水害など、広域的な被害。
令和元年房総半島台風 (9/7～9)	9	房総半島を中心とした各地で暴風等による被害。台風「ファクサイ」。
令和元年東日本台風 (10/10～13)	108	東日本の広い範囲における記録的な大雨により大河川を含む多数の河川氾濫等による被害。台風「ハギビス」。
令和2年7月豪雨 (7/3～31)	88	「 熊本豪雨 」。西日本から東日本の広範囲にわたる長期間の大雨。球磨川(熊本県)などの河川氾濫や土砂災害の発生
令和3年7月1日からの大雨 (7/1～3)	29	静岡県熱海市で土石流が発生
令和4年台風14号 (9/17～20)	5	九州を中心に西日本から北日本の広い範囲で暴風となり、海では猛烈なしけや大しけ
令和5年梅雨前線による大雨 (5/31～6/2)	6	高知県、和歌山県、奈良県、三重県、愛知県、静岡県で線状降水帯が発生

低地

- 土地の成り立ち
 - 河川や海の流れによって運ばれた砂礫や泥が堆積してできた平坦地
- この地形の自然災害リスク
 - 河川氾濫、内水氾濫、高潮、地震による強いゆれ、津波、液状化に注意

山地

- 土地の成り立ち
 - 起伏が大きな尾根と谷からなる地形
- この地形の自然災害リスク
 - 土砂災害に注意

◆ 地形要因

- 瀬戸内海燧灘に面し、緩やかな平坦部（沖積平野）に市街地が集積している。
- 加茂川、中山川等の多くの中小河川が市内を流れている。
- 扇状地、氾濫原、三角州からなる沖積平野は、一般的に地盤が軟弱といわれている。
- 急峻な山岳地帯がある。

◆ 発生が予想される被害

- ① 大雨や台風による大量の降雨によって、河川の氾濫による洪水や内水氾濫が発生する。
- ② 高潮や津波によって、広い範囲が浸水する。
- ③ 地震や大雨によって、土砂崩れ等が発生する。
- ④ 地震によって建物等の倒壊が発生し、人的被害、避難経路が限定されたり、大規模な住宅火災が発生する。
- ⑤ 地震によって液状化が発生し、地盤沈下や建物や下水道等地下構造物への被害が発生する。

過去の災害記録「地震・津波災害」

1946年（昭和21年）12月21日

昭和南海地震

Point

南海トラフ地震の
被害は太平洋側だけ
ではありません！！

西条市の人的被害

旧西条市

死者 1名
傷病者 51名

壬生川地区

死者 7名
傷病者 218名

警察署別被害

死者… 1人
住家全半壊… 棟数

海岸線の地盤変動値
ーは沈下量

大三島

大山祇神社の
大鳥居が倒壊。

松山

道後温泉は源泉が閉塞。
家屋倒壊による死者など。

郡中・松前

損害甚大。土蔵・土塀・壁が崩
落、畳・家財道具を道路に運び
出して戦災さながらの悲惨な姿。
道路には100円にわたり大亀裂。

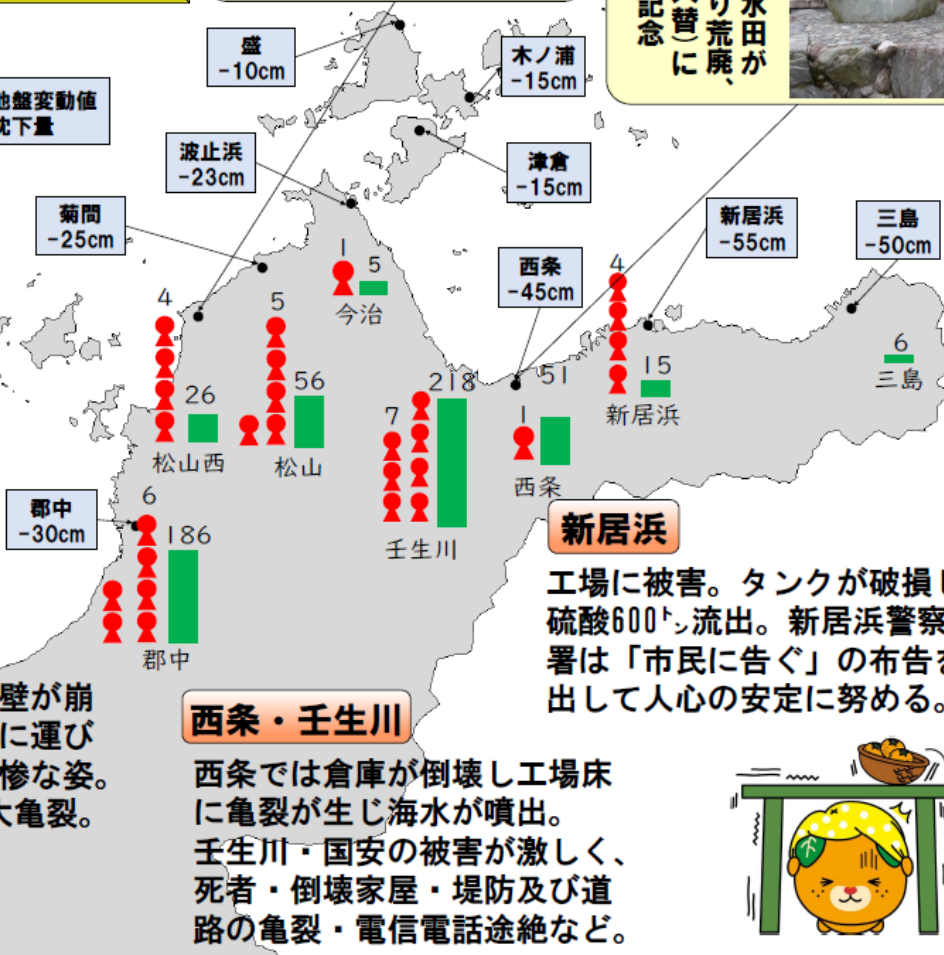
北温海岸防波堤竣工記念碑
松山市北条（昭和37年3月建立）

昭和南海地震により
地盤沈下し高潮被害
が続いていた場所の
防波堤完成を記念



西条市禎端「客土記念碑」
（昭和36年11月建立）

地盤沈下で水田が
海水に浸かり荒廃、
客土（土の入替）に
よる復興を記念



新居浜

工場に被害。タンクが破損し
硫酸600ト流出。新居浜警察
署は「市民に告ぐ」の布告を
出して人心の安定に努める。

西条・壬生川

西条では倉庫が倒壊し工場床
に亀裂が生じ海水が噴出。
壬生川・国安の被害が激しく、
死者・倒壊家屋・堤防及び道
路の亀裂・電信電話途絶など。





地盤沈下と、降雨のために
水浸しになった 本河原通

写真17-7



地盤沈下と降雨のために
水浸しになった 中河原通

写真17-8

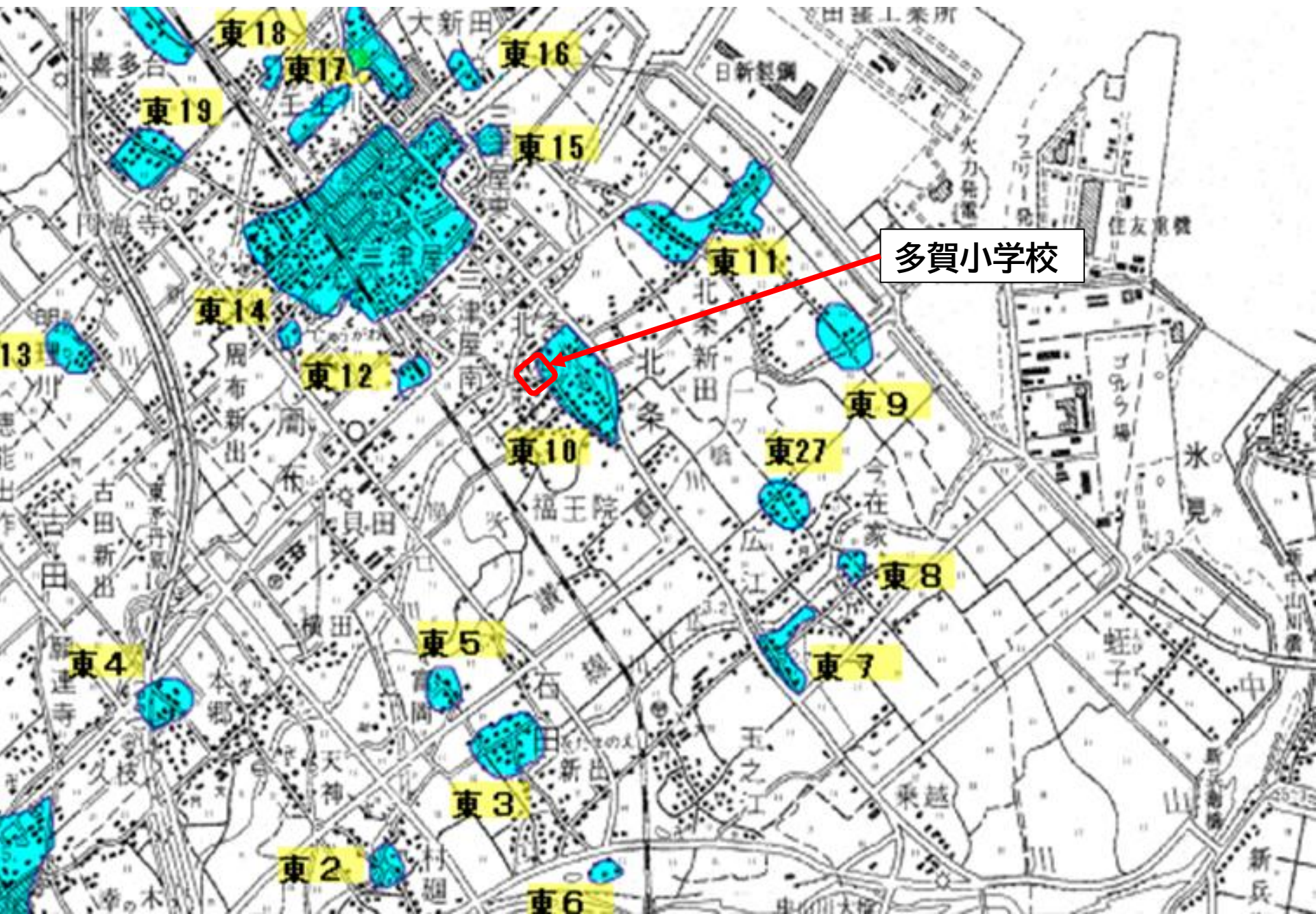
平成16年災害の記録
(台風21号)

西条市

では、映像を見てください。



過去の災害（平成16年災害）



「防災対策」それぞれの役割

市民の役割 自 助(7)

- ・「自らの身の安全は自ら守る」といった考え方に基づき、市民一人ひとりが自分の命や生活を守るための活動(法人も含まれる)
- ・ 知識の習得、耐震対策、備蓄、訓練等。

地域の役割 共 助(2)

- ・ 地域の連携による防災活動
- ・ 市民一人ひとりが隣人等と協力して、地域を守る活動
- ・ 自主防災組織などは典型的な一例

行政の役割 公 助(1)

- ・ 行政が実施主体となる活動
- ・ 災害に強いまちづくり
- ・ 災害発生に的確に対応できる地域作り、公的機関による救助、応援、備蓄等

◎ 災害から命を守る『防災の意識』

☆ 防災の意識

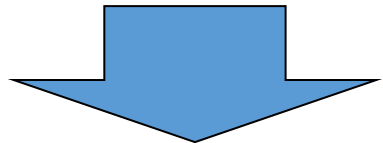
『自分の命は自分で守る』

『地域の安全は皆で守る』

「住民は助けてもらおう立場」

「防災は、行政の仕事」

という認識では、大災害に立ち向かえない



“禍・災い”があるから、“防災”をやる

防災は他人事ではない

未来の自分を守るのは今の自分！

「多賀校区の災害リスク」

“災害は、種類によってリスクが違う！”

防災マップ



洪水ハザードマップ



高潮ハザードマップ



土砂災害ハザードマップ



多賀校区（多賀小学校）の災害リスク

ハザードマップ、被害想定報告書等からリスクを調べる

防災マップ



洪水ハザードマップ



高潮ハザードマップ



その他の愛媛県や西条市のホームページで確認できる資料

- 愛媛県地震被害調査報告書（愛媛県ホームページ）
- 愛媛県洪水浸水想定区域図（愛媛県ホームページ）
- 愛媛県高潮浸水想定区域図（愛媛県ホームページ）
- 洪水氾濫危険区域図（西条市ホームページ）
- 内水ハザードマップ（西条市ホームページ）

南海トラフ地震の発生による被害

LOVE SAIJO

まちへの愛が未来をつくる

ゆれやすさマップ
震度分布

凡 例

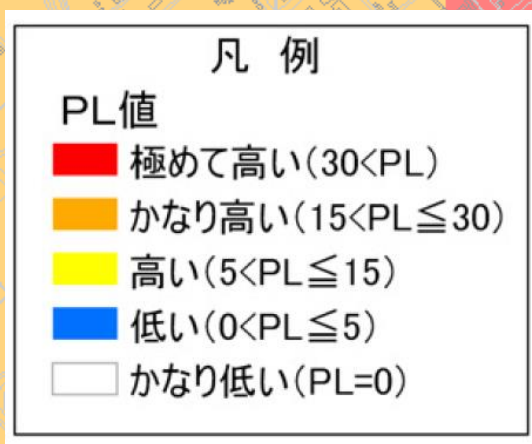
震度階級

- 震度 7
- 震度 6 強
- 震度 6 弱
- 震度 5 強
- 震度 5 弱
- 震度 4
- 震度 3 以下

多賀小学校

震度6強の想定

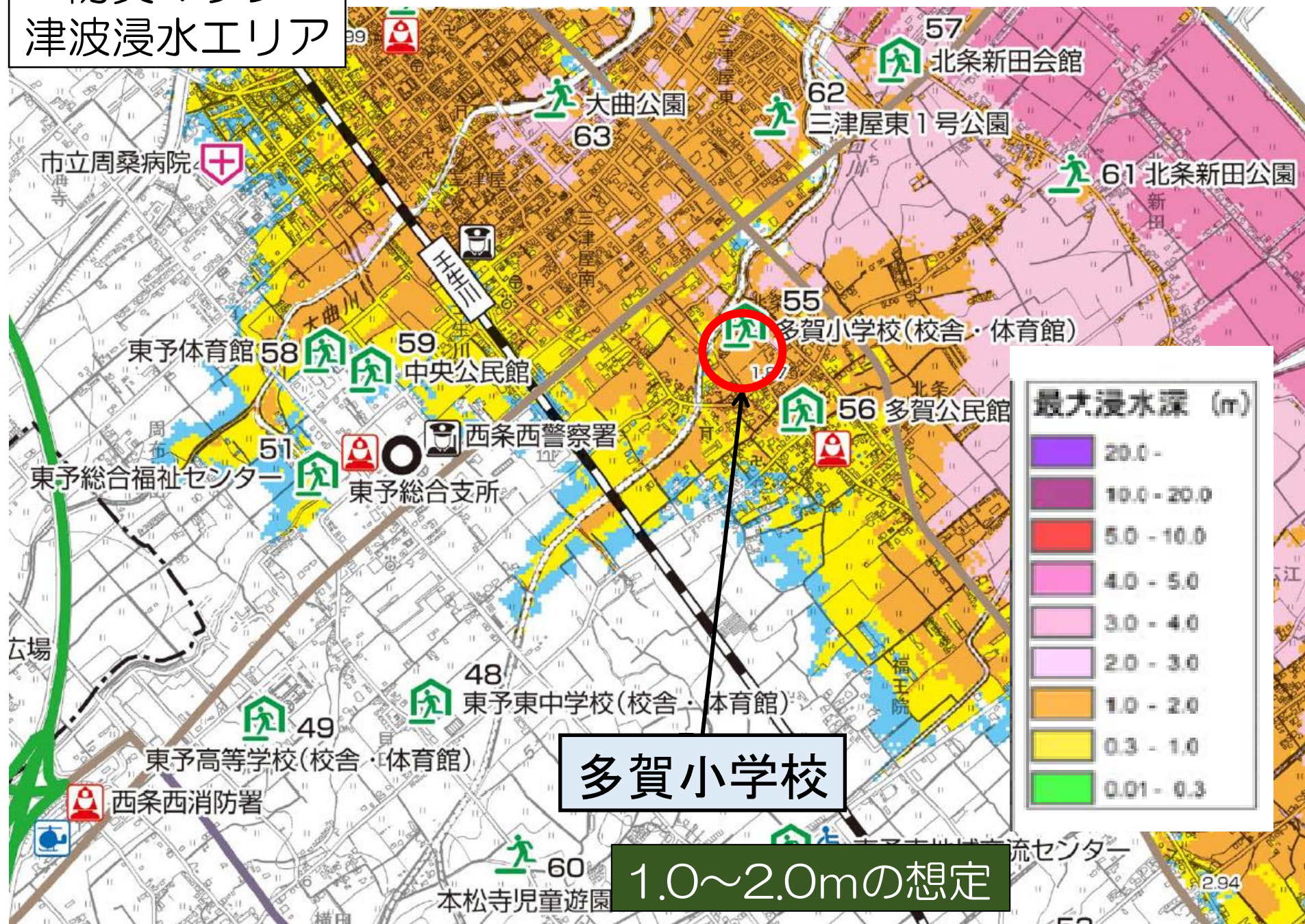
液状化マップ 液状化危険度



多賀小学校

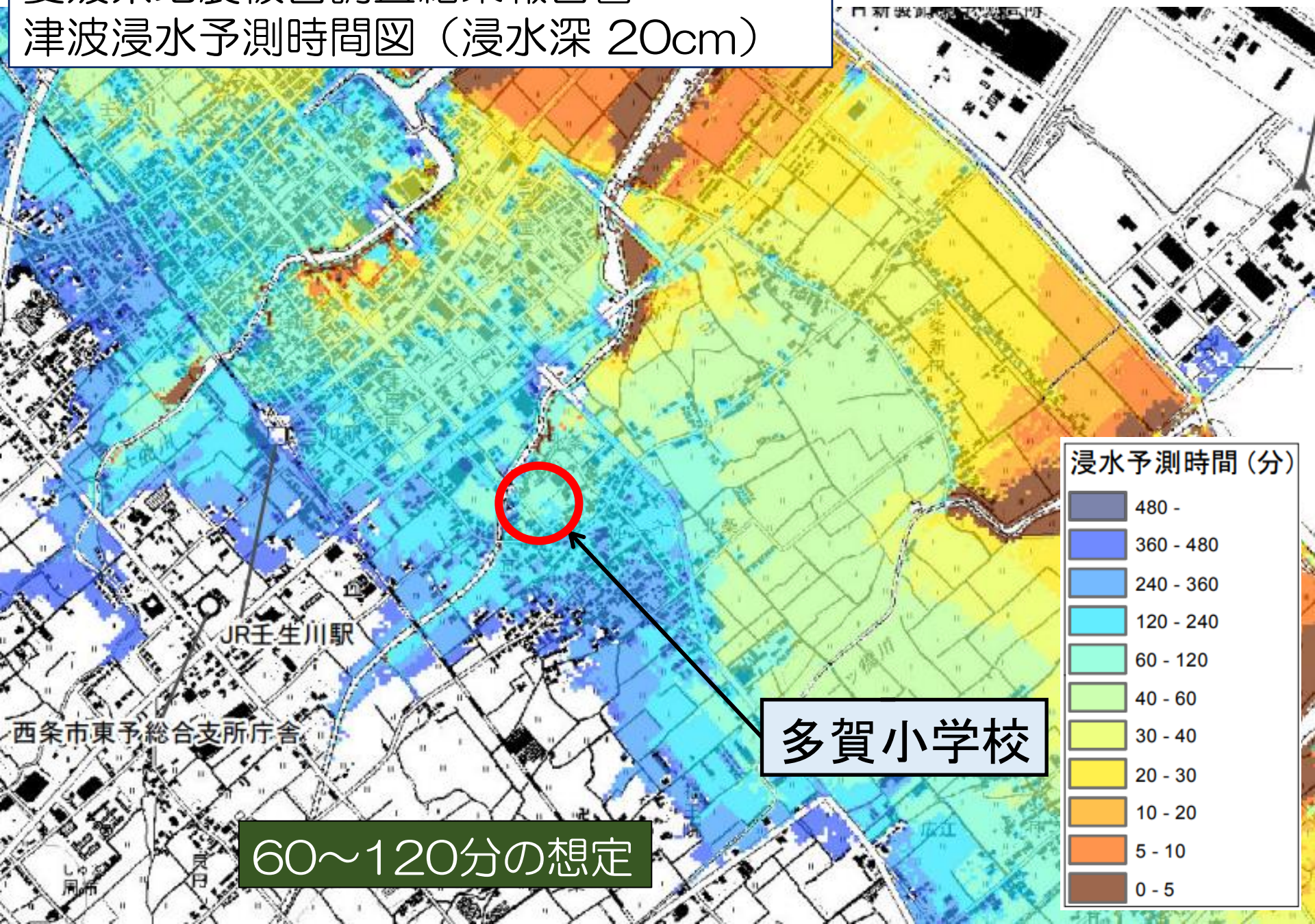
極めて高い想定

防災マップ 津波浸水エリア



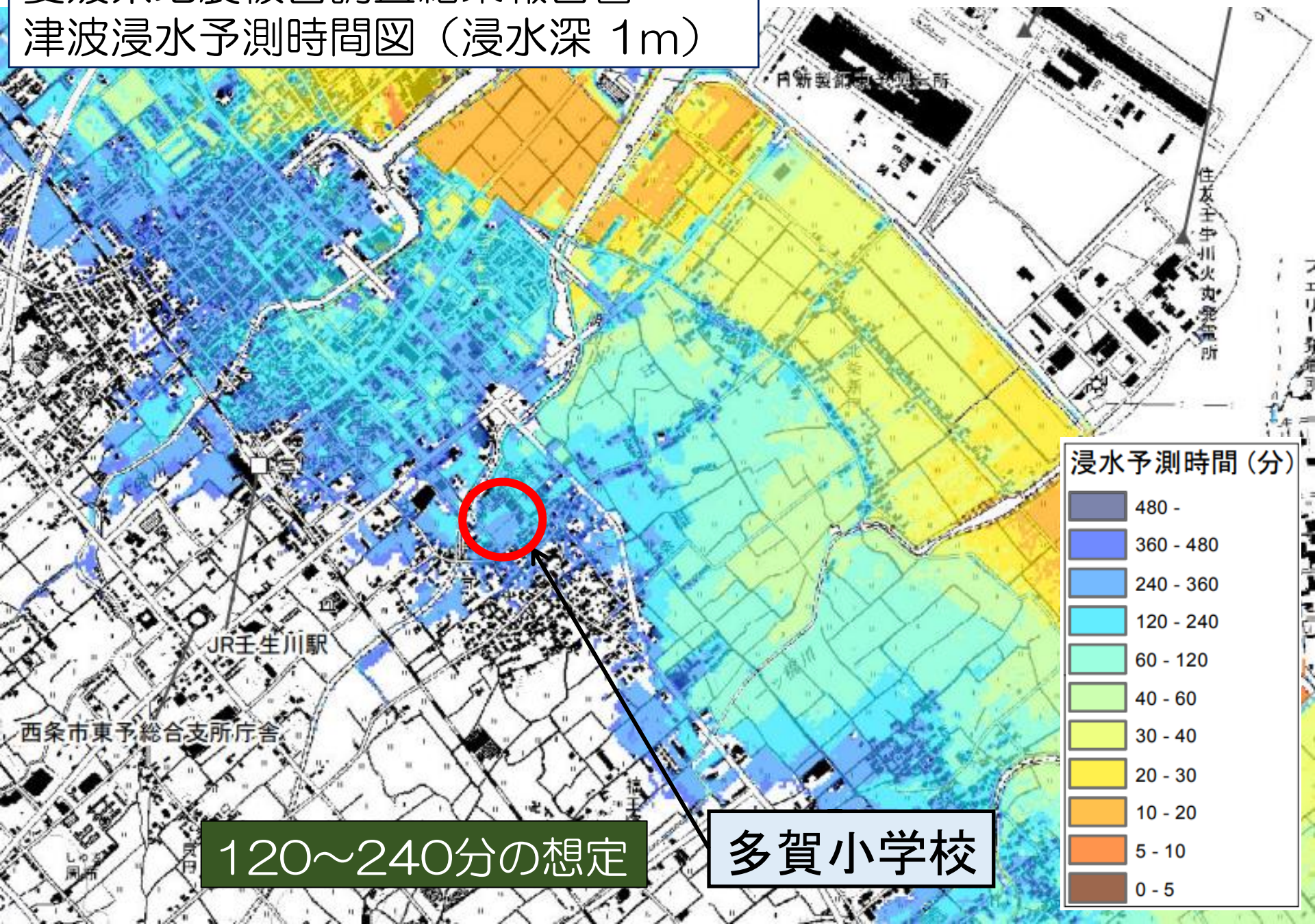
愛媛県地震被害調査結果報告書

津波浸水予測時間図（浸水深 20cm）

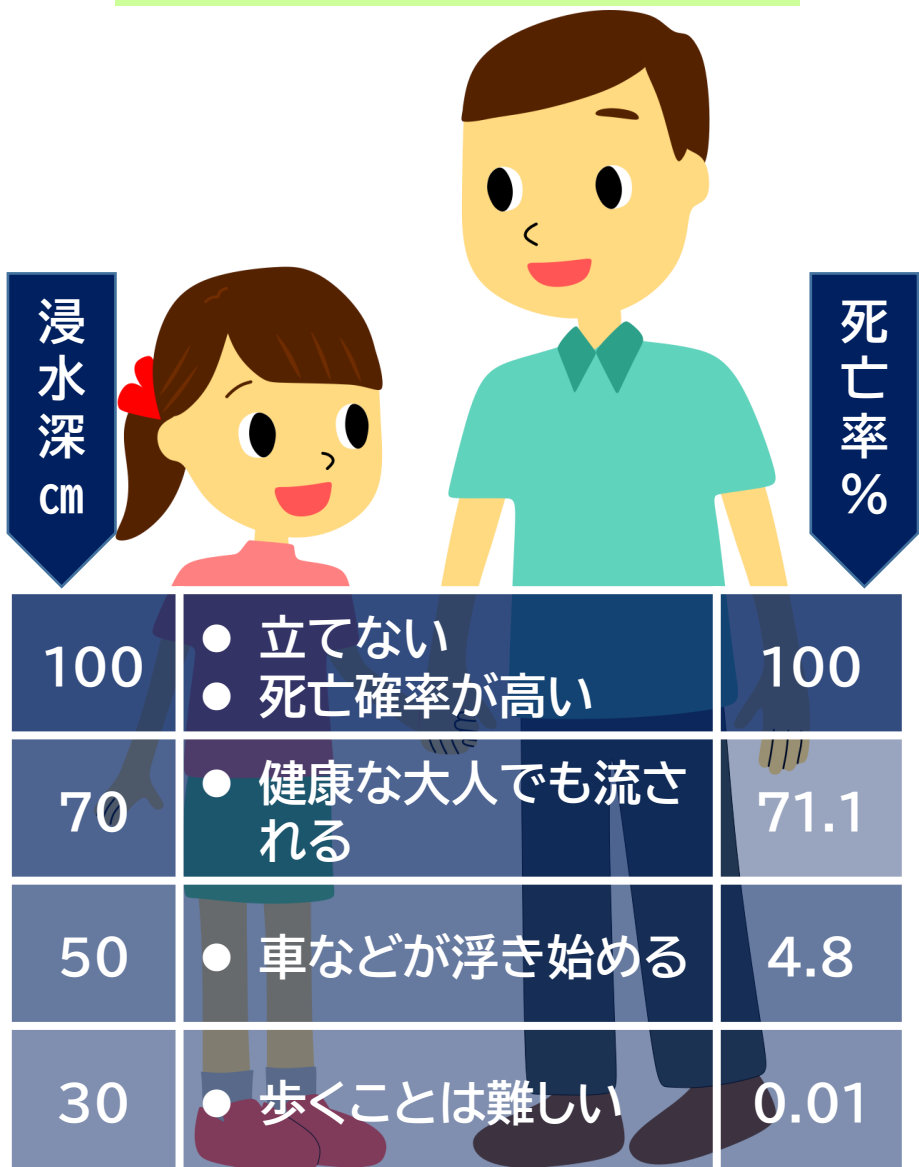


愛媛県地震被害調査結果報告書

津波浸水予測時間図（浸水深 1m）



津波浸水深と人の被害



津波浸水深と建物被害の関係

津波浸水深 (m)	木造家屋	鉄筋コンク リートビル
0～2m	構造被害 なし	持ちこた える
2～4m	構造被害 ありなし 混在	
4m以上	全滅	
		被害発生



◆ 発生が予想されるリスク

●大地震の発生《地震動（強烈な揺れ）、液状化、津波》

ハザード 地震災害・津波災害

要因

- 南海トラフ地震
- その他の地震（活断層による地震、遠地津波）

該当するマップ等

- 西条市防災マップ【西版】
- 津波浸水予測時間図〈浸水深20cm〉
- 津波浸水予測時間図〈浸水深1m〉

リスク

最大震度

6強

液状化危険度

極めて高い

浸水深

2.0m

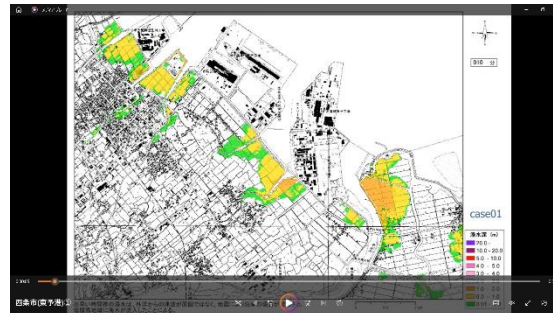
予測時間

60分後

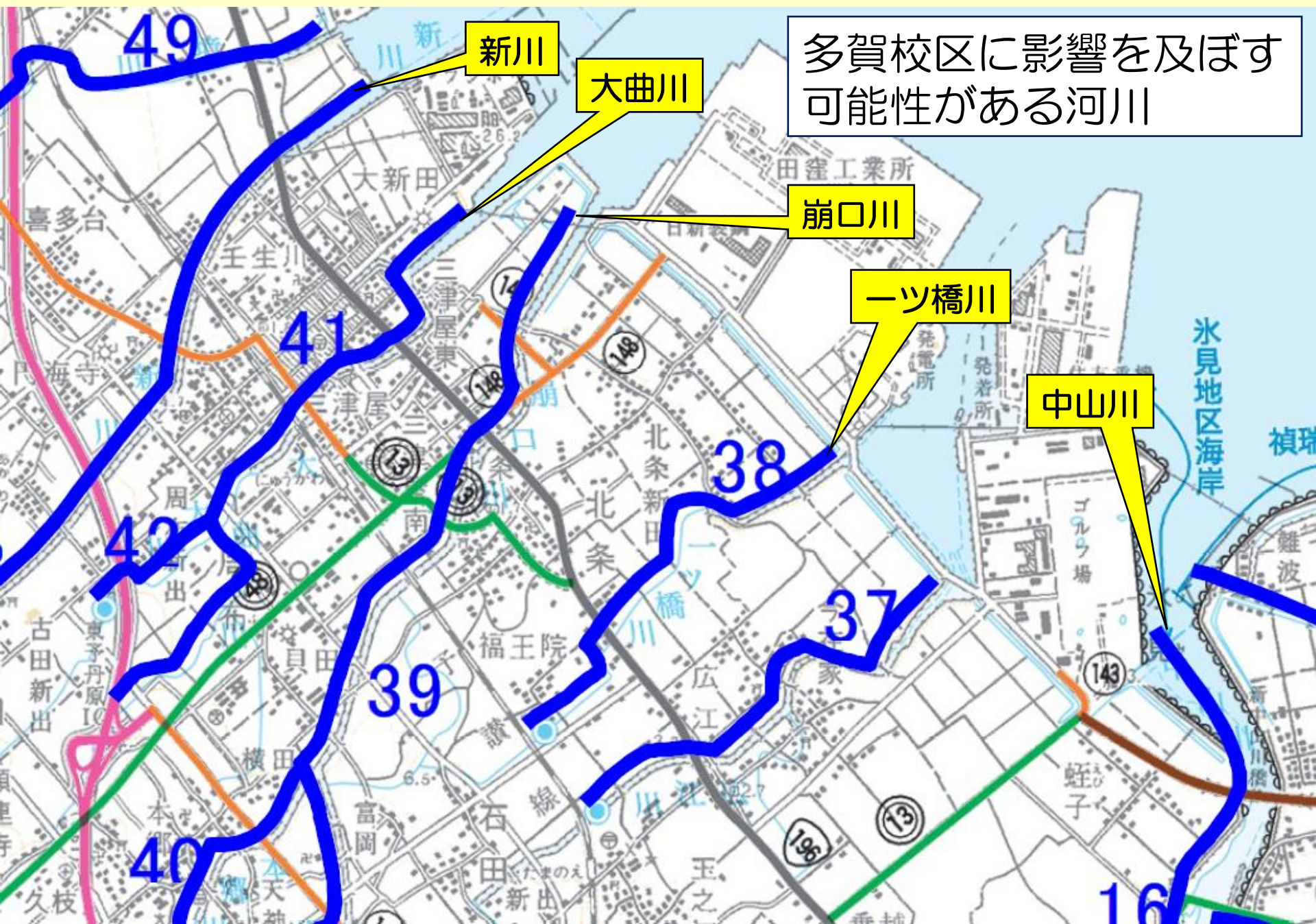
※ 阪神淡路大震災の映像



※ 津波浸水アニメーション映像



LOVE SAJO
まちへの愛が未来をつくる



洪水ハザードマップ③ (対象河川：中山川)



多賀小学校

0.5~3.0m未満の想定



愛媛県洪水浸水想定区域図（対象河川：中山川）

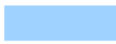
浸水継続時間

多賀小学校

24～72時間の想定

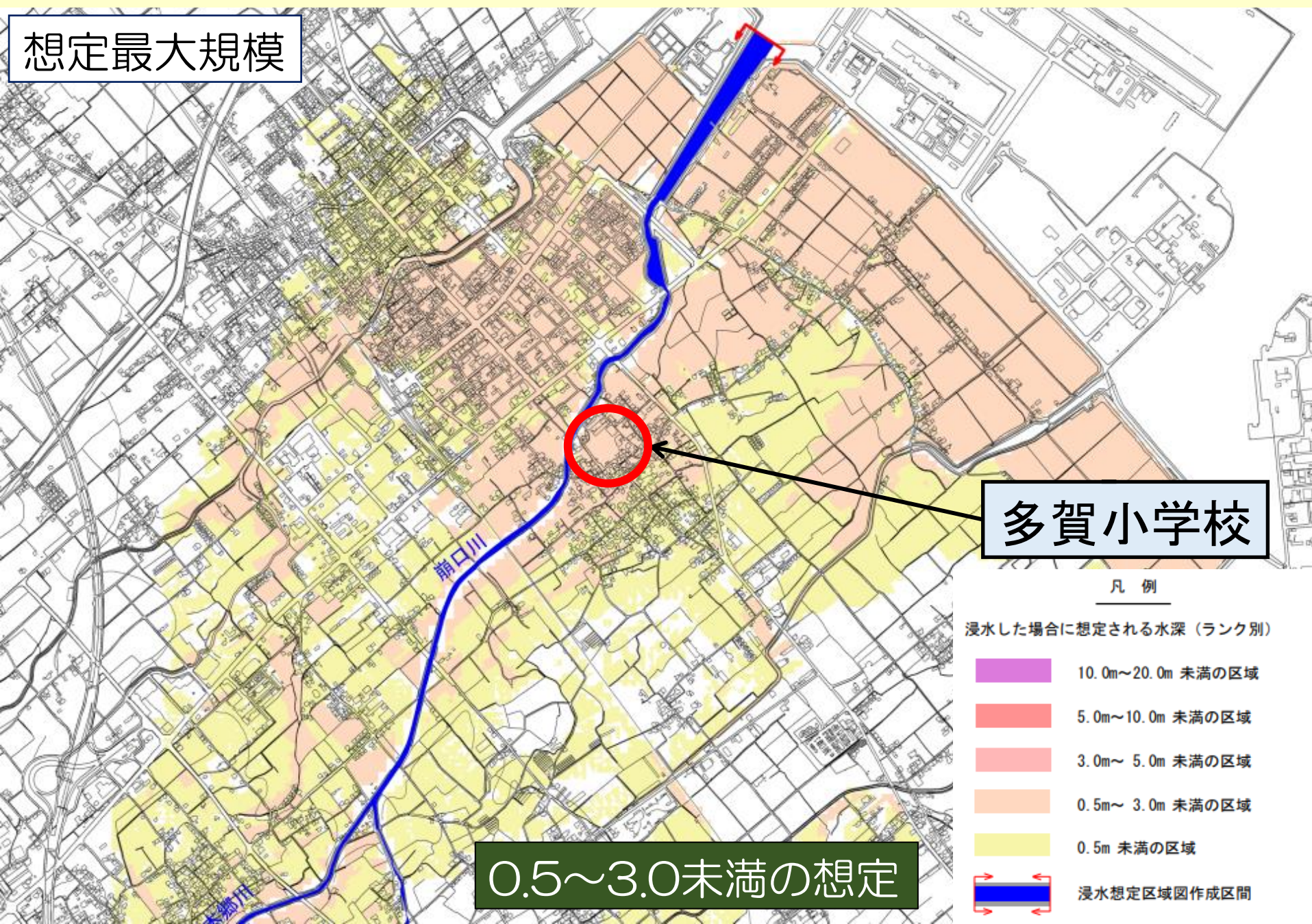
凡 例

浸水深が0.5m以上となる時間

-  0～12 時間の区域
-  12～24 時間(1日間)の区域
-  24～72 時間(3日間)の区域
-  浸水想定区域図作成区間

愛媛県洪水浸水想定区域図（対象河川：崩口川）

想定最大規模



愛媛県洪水浸水想定区域図（対象河川：崩口川）

浸水継続時間

多賀小学校

凡 例

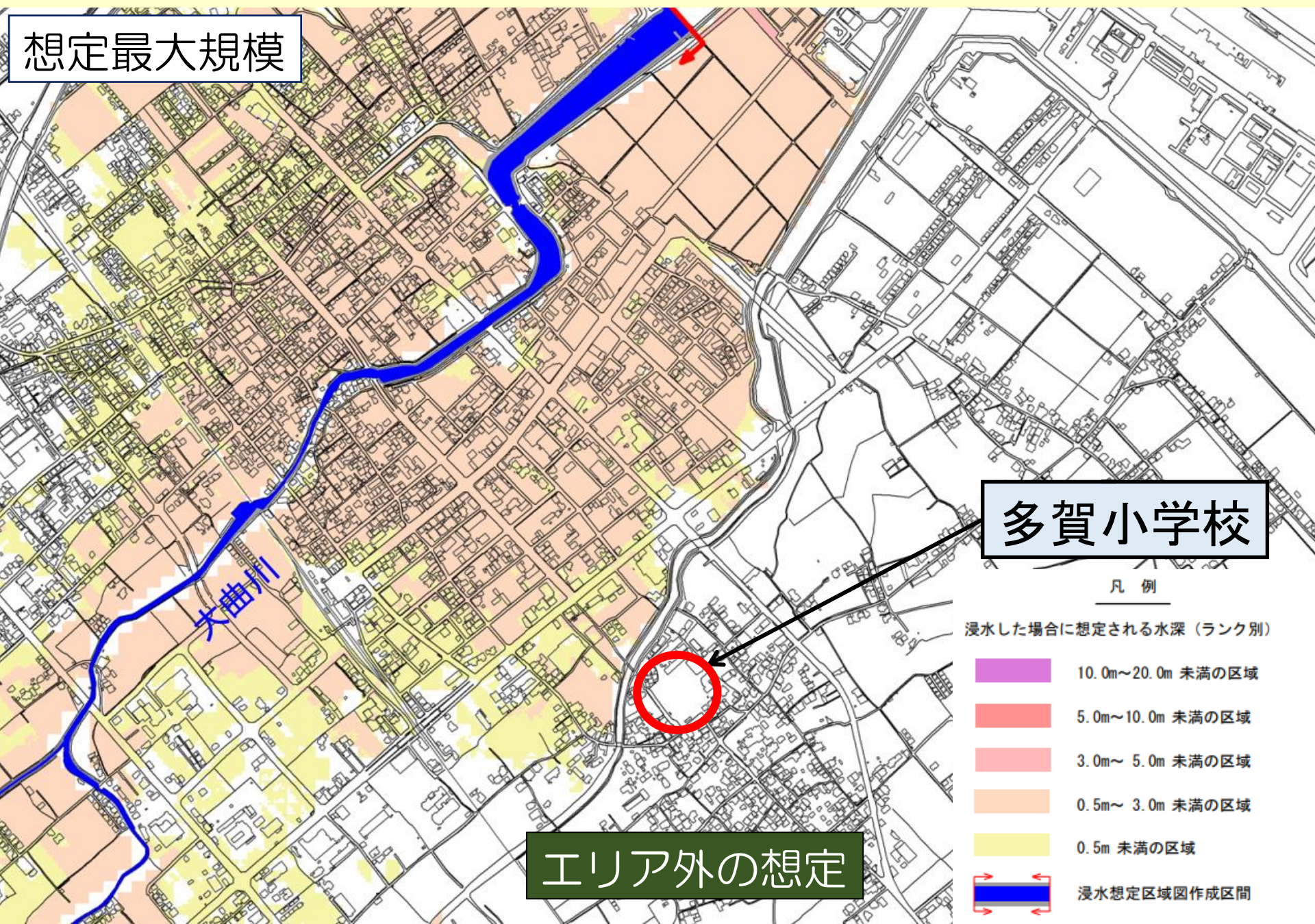
浸水深が0.5m以上となる時間



0～12時間の想定

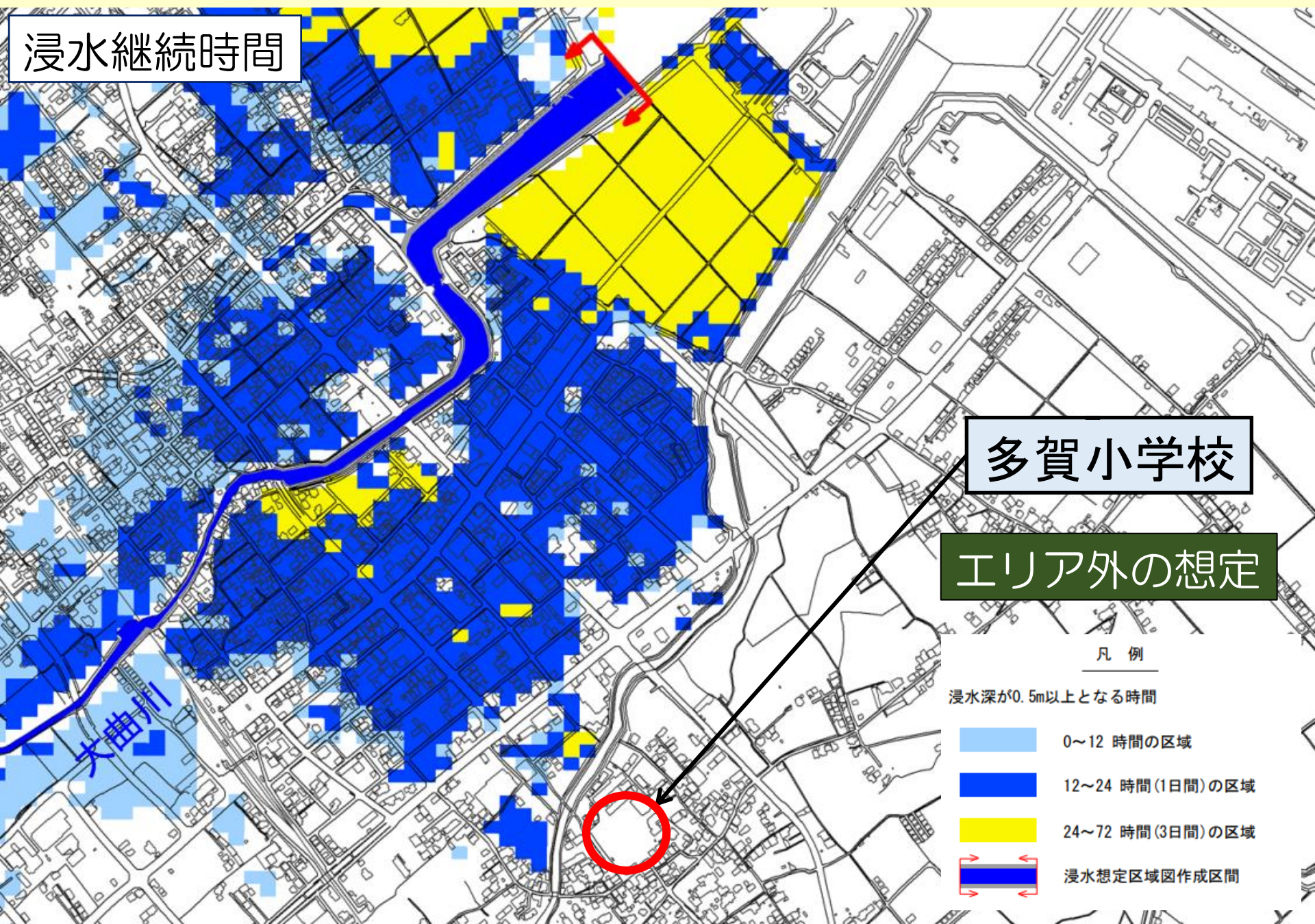
愛媛県洪水浸水想定区域図（対象河川：大曲川）

想定最大規模



愛媛県洪水浸水想定区域図（対象河川：大曲川）

浸水継続時間



愛媛県洪水浸水想定区域図（対象河川：新川）

想定最大規模

多賀小学校

エリア外の想定

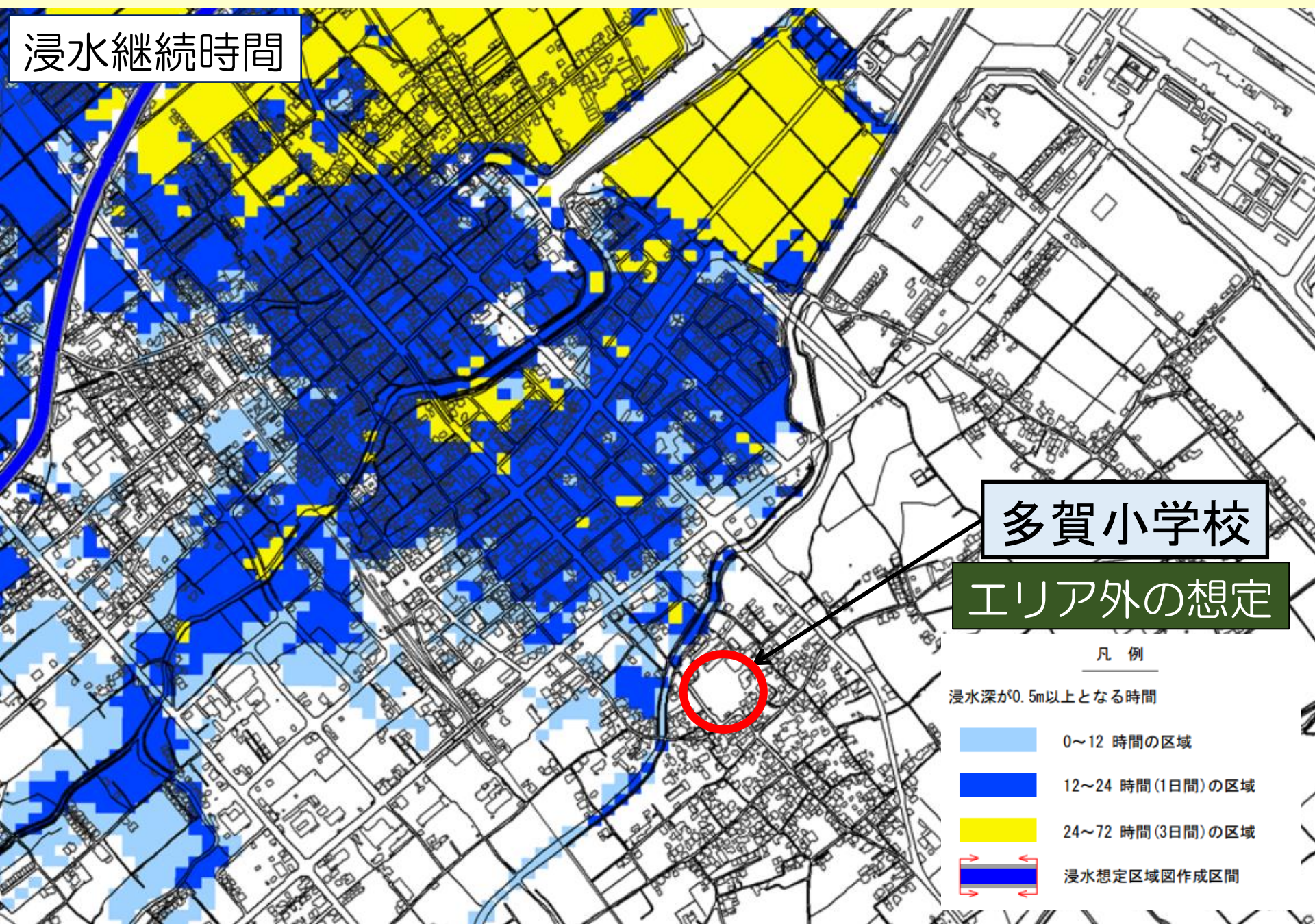
凡 例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）



愛媛県洪水浸水想定区域図（対象河川：新川）

浸水継続時間



洪水氾濫危険区域図（対象河川：一ツ橋川）

LOVE SAIJO

まちへの愛が未来をつくる

計画規模

この豪雨（日雨量226mm）により、堤防が決壊し、流木等によるはん濫は考慮していません。

図」とは異なるものです。

一ツ橋川洪水氾濫危険区域図

位置図



多賀小学校

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域

洪水氾濫危険区域の対象区間

エリア外の想定

◆ 発生が予想されるリスク

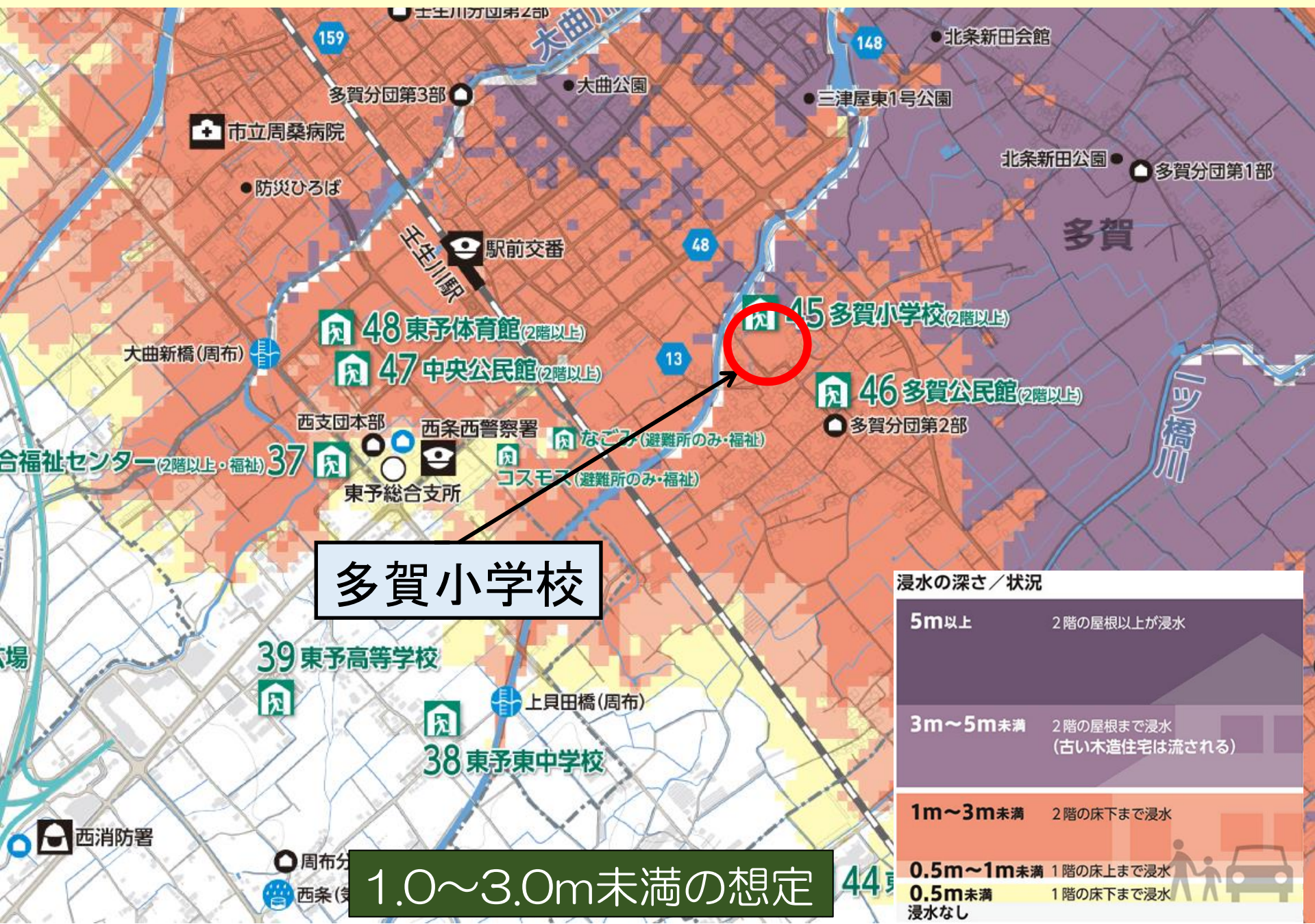
●大雨・台風等の発生①《河川の氾濫、排水機能不全》

ハザード	洪水害（外水氾濫） 浸水害（内水氾濫）				
要因	●前線性の大雨 ●台風 ●ゲリラ豪雨（発達した積乱雲による局地的豪雨）				
該当するマップ等	●西条市洪水ハザードマップ③ ●洪水氾濫危険区域図 ●洪水浸水想定区域図 ●内水ハザードマップ（平成16年台風災害実績）				
リスク	中山川	一ツ橋川	崩口川	大曲川	新川
浸水深	3.0m	1.0m	3.0m	エリア外	エリア外
継続時間	72時間	データなし	12時間	—	—

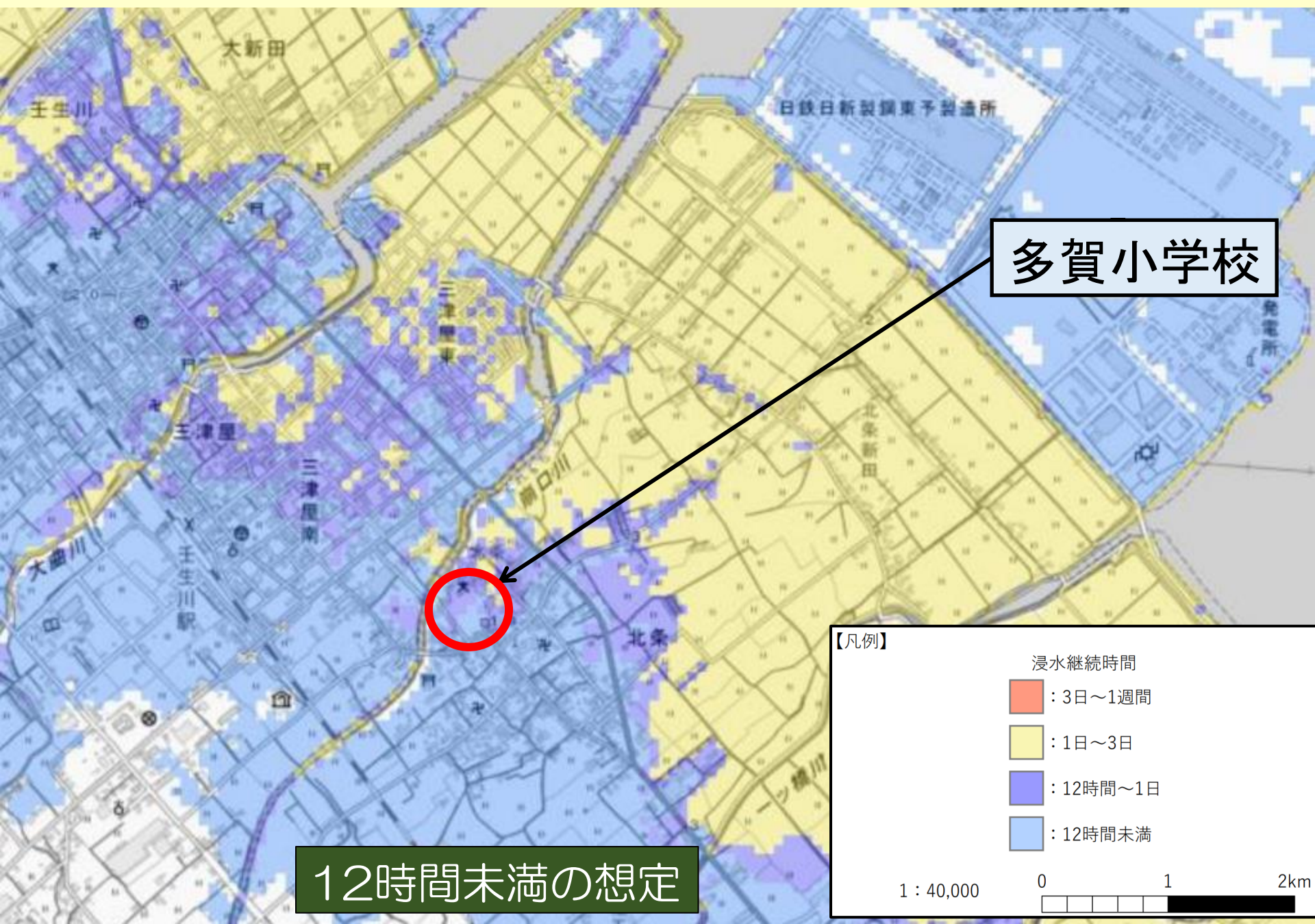
高潮ハザードマップ

LOVE SAIGO

まちへの愛が未来をつくる



愛媛県高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）



◆ 発生が予想されるリスク

● 大雨・台風等の発生② 《海水面の上昇》

ハザード	高潮害	
要因	● 台風 ● 発達した低気圧	
該当するマップ等	● 西条市高潮ハザードマップ ● 高潮浸水想定区域図	
リスク	浸水深	浸水継続時間
	3.0m	12時間

高潮発生メカニズム

台風や低気圧

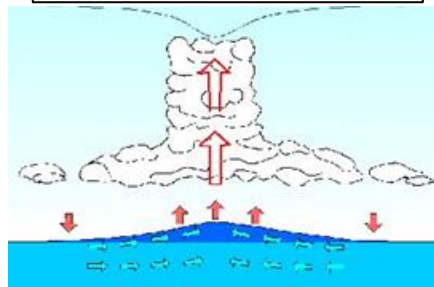
沖から打ち寄せた高波

吹き寄せ効果

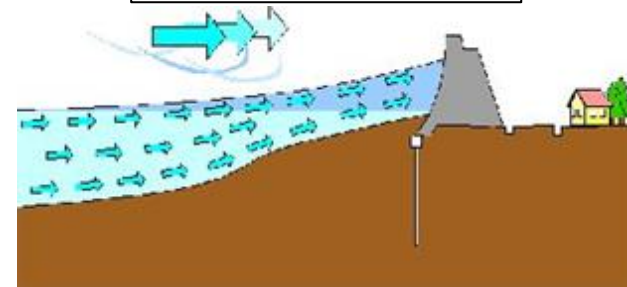
引き上げ効果

通常の高位（天文高位）

● 引き上げ効果



● 吹き寄せ効果



○地震・津波のリスク

- 最大震度 : 6強
- 液状化の危険度 : A (15<PL)
- 津波浸水深 : 2.0m未満
- 浸水が始まるまでの時間 : 60分から120分後

○浸水（河川氾濫・内水氾濫・高潮）のリスク

- 24時間雨量が685mmを超えると中山川の氾濫により、0.5～3m（2階の床下）の浸水が予想される。
- 50年に1回程度起こる豪雨（時間雨量強度61mm/h）により、崩口川等中小河川の氾濫により、0.5～2m未満の浸水が予想される。
- 過去最大規模の室戸台風（900hPa）が伊勢湾台風（移動速度73km/h）で最悪のコースを通ると想定すると、高潮の発生により1～3m未満（2階の床下）の浸水が予想される。
- 平成16年の台風21号により、北東部の住宅が浸水した。

知って備える

「命を守る！」

“災害は、種類によって様相が違う！”

- ◎ 風水害等の進行型災害は、事前の準備（早めの行動）で命を守ることができる。
- ◎ 真に考えるべきは、地震等の突発型災害。

備えあれば患い無し！

患い無ければ備えなし！

◎災害から命を守る

●災害によって直接命を失う危険性

- 建物の倒壊による圧死、洪水による溺死など

●その後の生活の中で命を失う危険性

- 生活環境の変化による持病の悪化、あらたに病気に罹患するなど

災害関連死

災害種別、時間の経過を想定した備えが必要！

◎災害による直接死から命を守る

◎被災後の生活環境の悪化から命をつなぐ

	進行型災害	突発型災害
ハザード	台風、前線性起因の大雨、 局地的集中豪雨、遠地津波	地震、事件・事故等
特徴	災害の発生がある程度前から予見できる 〈リードタイムがある〉	災害が突発的に発生する 〈リードタイムがない〉
命を守る行動	◎ 早めの避難 ➤ 被害が発生する前に安全確保	◎ とっさの判断・実行力 ➤ 多くの行動パターンの習得と迅速な判断
事前の対策	① 防災の知識を習得 （災害リスク、安全を高める方法など） ② 自宅の安全化 （耐震化、家具等の転倒・落下・移動防止など） ③ 水・食糧、物資の準備 （非常持出袋、家庭内備蓄） ④ 地域、近所の活動に積極的に参加	

西条市で一番大きな被害をもたらす災害は、

南海トラフ巨大地震

約100年
周期で発生

令和7年1月1日時点の評価
今後30年以内の発生確率

80%

前回の地震から今年で

79年

◇西条市で発生する南海トラフ巨大地震の諸元

最大震度	最大津波高	地盤沈降量
震度 7	3. 4 m 満潮位 1. 9 m 津波波高 1. 5 m	0. 9 m



津波到達時間		
±20cm	+1m	最高津波高
5分	2 2 2分	4 6 1分

資料：愛媛県地震被害想定調査結果（H25.12.26公表）

◇西条市の被害想定 資料：愛媛県地震被害想定調査結果（H25.12.26公表）

《建物被害》 西条市全建物数：85,887棟

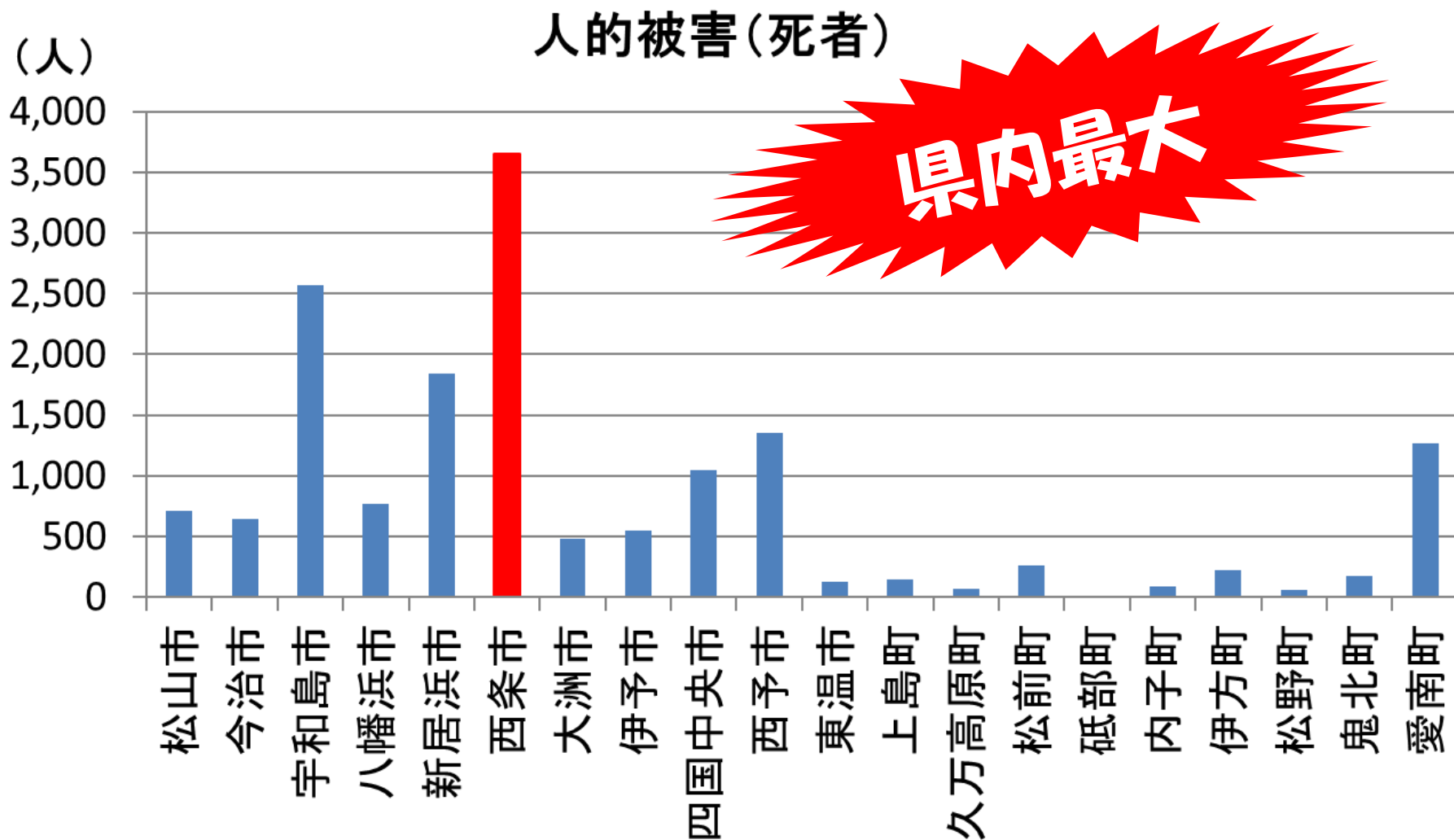
	揺れ	液状化	土砂災害	津波	火災焼失	合計
全壊棟数	14,574	1,466	12	3,890	13,191	33,132
半壊棟数	11,832	1,866	29	3,814	-	17,541

《人的被害》 西条市人口：112,091人 ※H22国勢調査より

	建物倒壊	（内数） 屋内収容物	土砂災害	津波	火災	合計
死者 （愛媛県）	826 (6,210)	47	1 (53)	2,592 (8,184)	230 (1,585)	3,648
負傷者	5,179	700	1	82	121	5,383
要救助者	2,373			49		
要搜索者				2,674		

※ 合計数値については、小数点以下の取扱(調整)により、値が合わない場合があります。

愛媛県内市町毎の人的被害推計結果



◎ 地震災害による直接死を防ぐ行動

地震災害＝突発型災害

○ 地震は、なんの予兆もなく、突然発生します。

◎ 最善の方法を瞬時に選択し実行できるようなること



➤ 家庭では

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
- あわてて外に
- 無理に火を消そうとしない



➤ 人がおおぜいいる施設では

- 施設の係員の指示に従う
- 落ち着いて行動し、あわてて出口には走り出さない



➤ エレベーターでは

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる



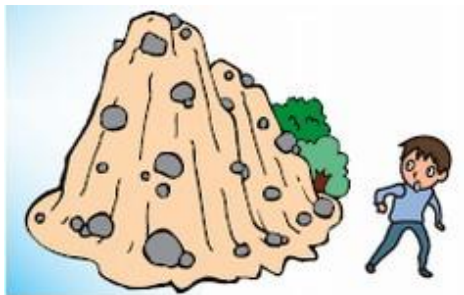
➤ 自動車運転中は

- あわててスピードを落とさないでください。
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促してください。
- 急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとしてください。



➤ 街中では

- ブロック塀の倒壊等に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意
- 丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難



➤ 山やがけ付近では

- 落石やがけ崩れに注意

揺れがおさまった！最初にすることは

◎ 落ち着いて火の元確認
初期消火



◎ 窓や戸を開け出口を確保



自分の安全が確保できたら

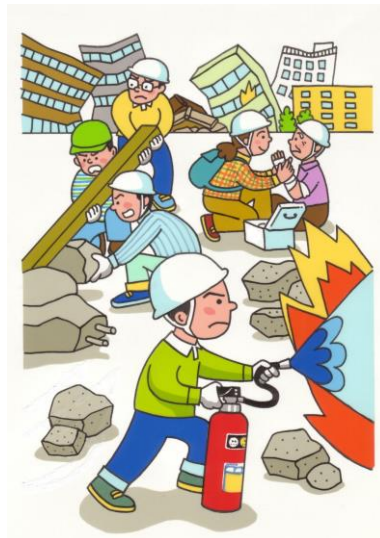
◎ 確かめ合おう我が家の安全 隣の安否



◎ 正しい情報確かな行動



◎ 協力し合って消火・救出・応急救護



◎ 避難の前に安全確認 電気・ガス



◎ 津波災害による直接死を防ぐ行動

津波災害＝進行型災害

○ 津波は、発生原因となる地震をもとに到達時間
をある程度正確に計算することができます。

◎ 津波到達前に浸水エリア外へ 避難



- 津波は、1回の波で終わらず、**繰り返し押し寄せ**てきます。
- 大津波警報や津波警報だけでなく津波注意報が解除されるまで海岸には近寄らないようにしよう。

☆ 津波からの早期避難の減災効果

◎ 津波からの早期避難の減災効果

- 調査時（H25.6）の20%から実施率100%になると

約9分の2（22.2%）に減少
（2,592人→576人）

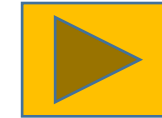
西条市への津波到達想定時間

±20cm	+1m	最高津波高
5分	222分	461分

◎ 地震のゆれによる直接死を防ぐ事前の備え

● 自宅の安全化

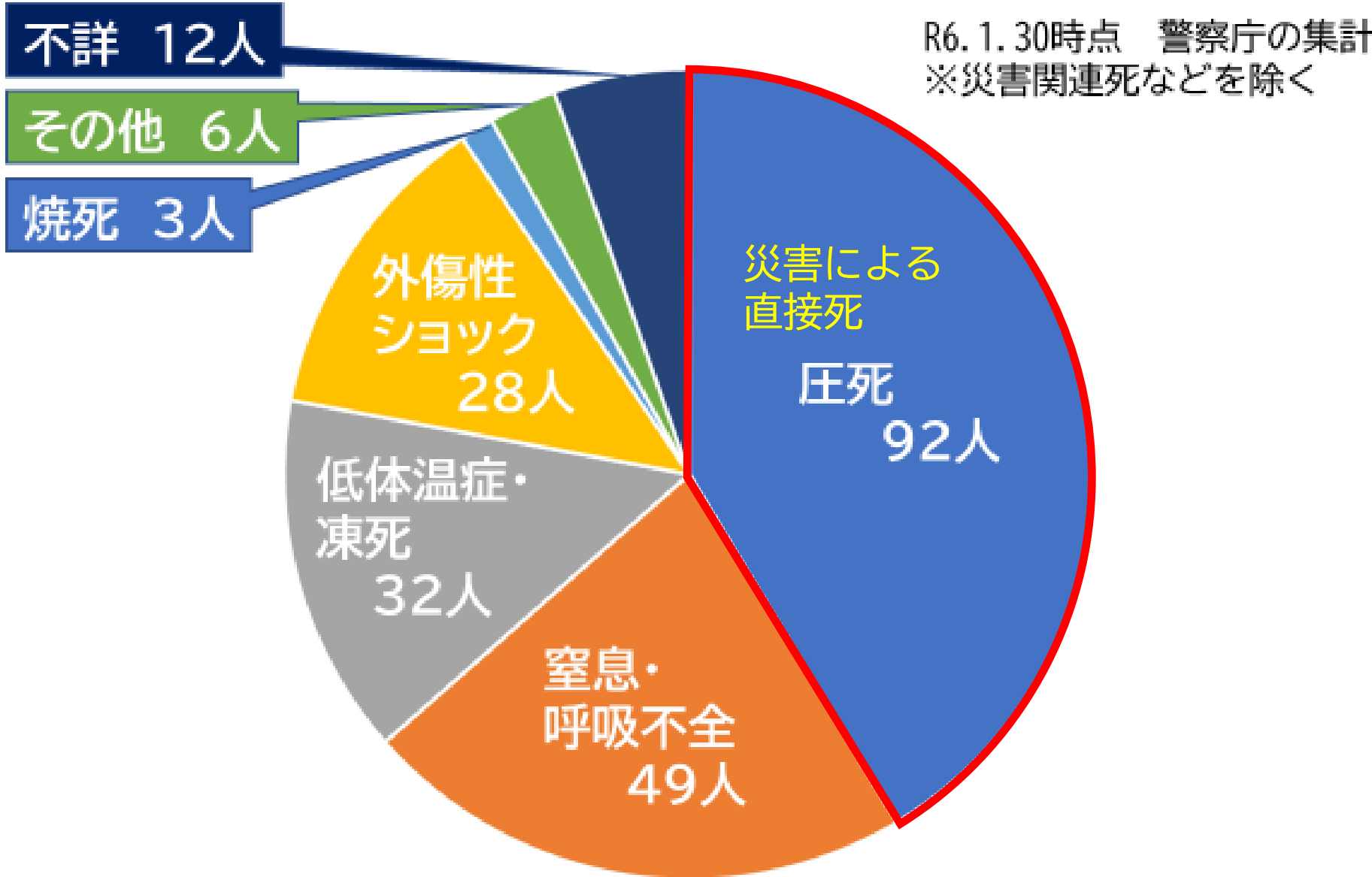
地震による家屋と室内の状況（実験映像）を見てみよう!!



（1分2秒）

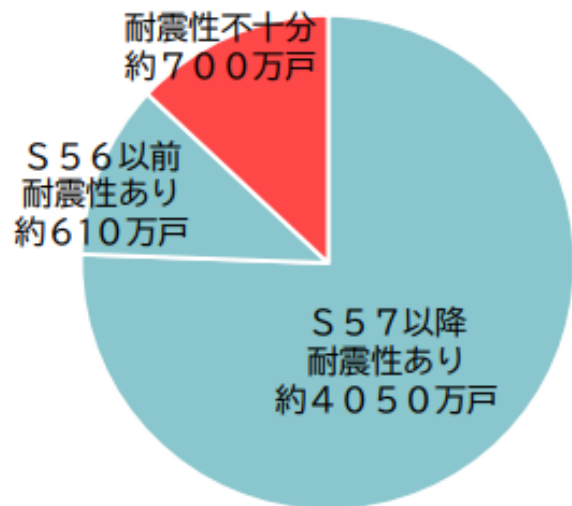
◎令和6年能登半島地震で得られた課題

亡くなられた人の死因 『4割が圧死』



○住宅の耐震化 (R4.12国土交通省作成資料から引用)

現状値：平成30年



耐震化率 約87%

総戸数 約5360万戸
耐震性あり 約4660万戸

全国の耐震化率は、87%

● 輪島市は、46%

● 珠洲市は、51%

● 西条市は、78%

全国平均を下回っています

自宅の耐震化が命を守る

◆ 自宅を安全化しよう！『家本体及び周辺対策』

● 屋根、アンテナ

- 落下しないようにしっかり確認

● プロパンガス

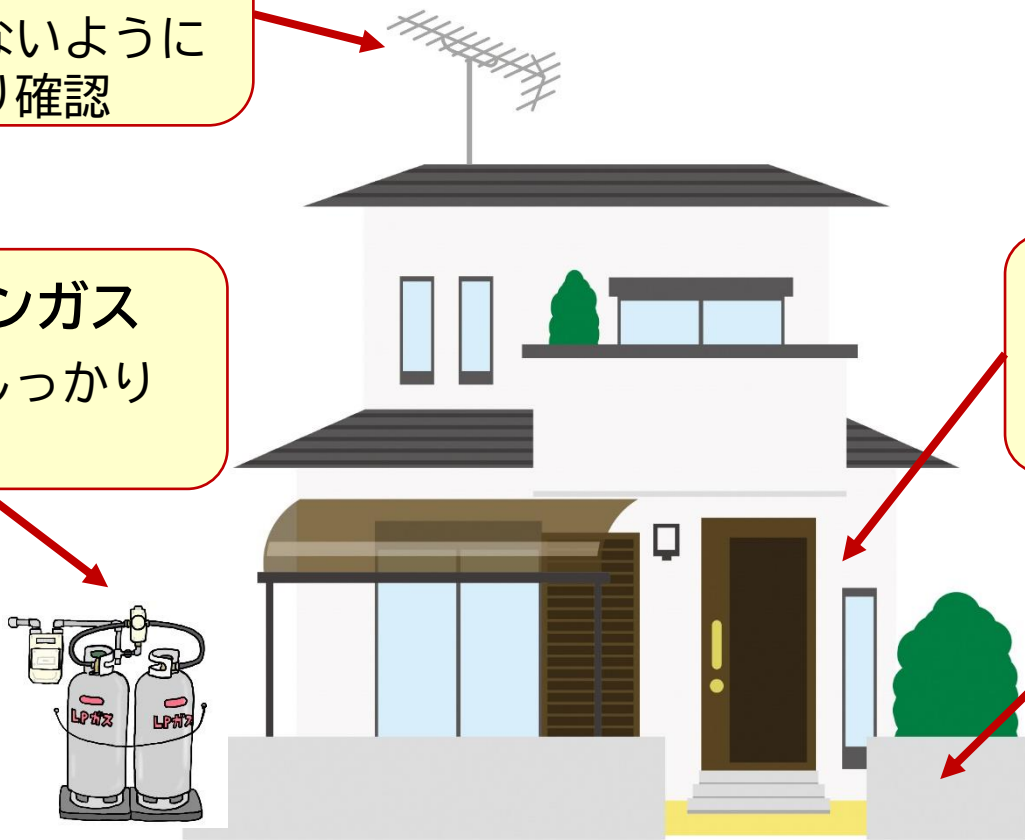
- 壁面としっかり固定

● 玄関まわり

- 出入りに支障がないように整頓

● ブロック塀

- 耐震補強を確実に実施



昭和56年(1981)5月31日以前に着工した木造建物
は、耐震基準が低い可能性があるため、早めに診断しましょう。

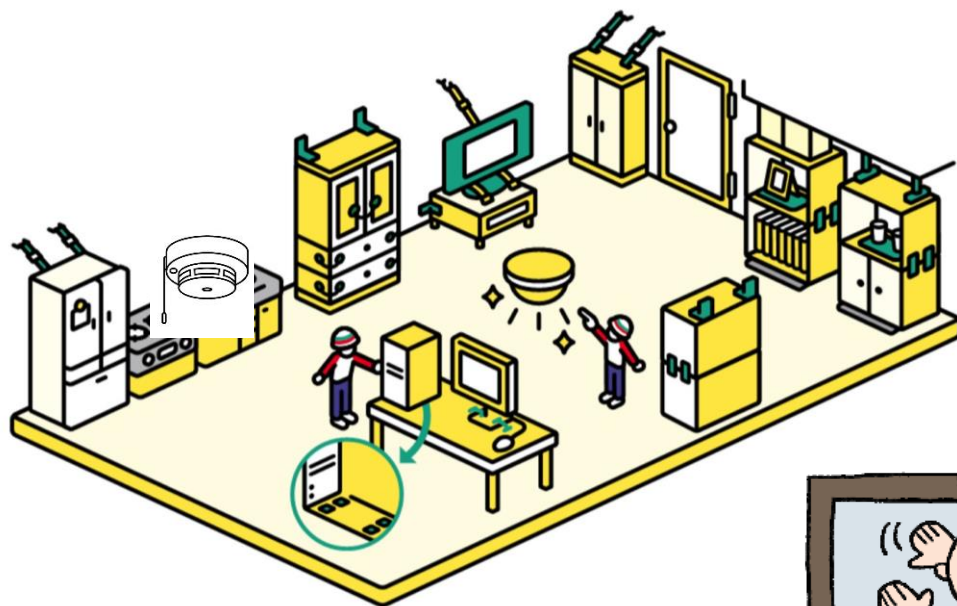
◆ 自宅を安全化しよう！『家の中の対策』

● 冷蔵庫、食器棚

- 壁面としっかり固定
- 飛び出し防止の措置

● 本棚、タンス

- 壁面としっかり固定
- 2段重ねの場合は金具で連結



● テレビ、パソコン（台）

- 転倒、移動防止の措置

● 照明器具

- 落下防止の措置

● 火災報知器、ガスレンジ

- 10年に一度交換する
- 自動停止機能付きにする



● 窓ガラスなど

- 飛散防止の措置

家具の配置にも気を付けよう！

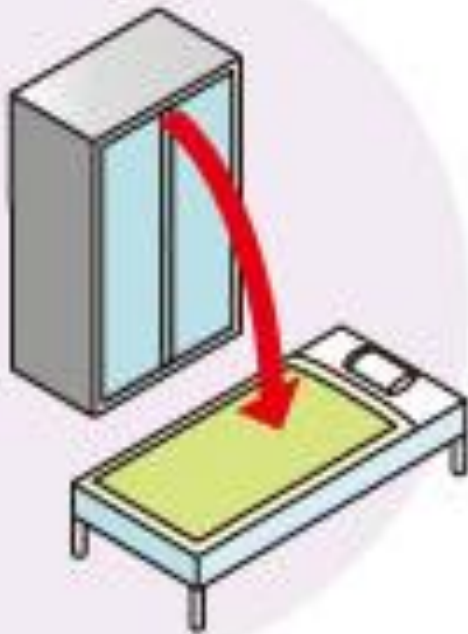
《家具類の転倒実験結果》（東京消防庁実験から作成）

波 形	阪神・淡路大地震		
震度階	5強	6弱	6強
器具なし	ロッキング	家具移動	転 倒
L型金具	○	ロッキング	ロッキング
プレート式	○	ロッキング	ロッキング
チェーン式	ロッキング	大きくロッキング	家具移動
ベルト式	ロッキング	大きくロッキング	家具移動
ポール式	○	ロッキング	家具移動・金具脱落
ストッパー式	ロッキング	家具移動・金具ずれ	器具はずれ・転倒
マット式	ロッキング	家具移動・器具剥離	転 倒
ポール+ストッパー式	○	○	ロッキング
ポール+マット式	○	○	ロッキング

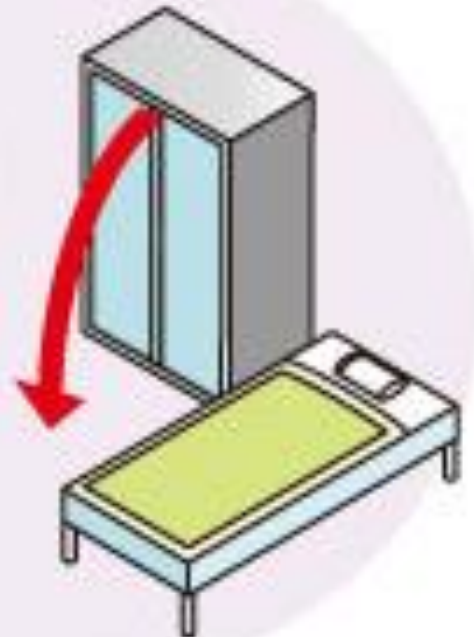


家具の配置にも気を付けよう！

- ドアをふさがない
- 寝ているところに倒れない



ベッドの
上に転倒



ベッドの
ない
所へ転倒

☆ それぞれの対策の減災効果

◎ 建物の耐震化の減災効果

- 調査時（H25.6）の耐震化率71.4%から実施率100%になると

約19分の1（5.3%）に減少
（1,056人「建物倒壊＋火災」→57人）

◎ 家具等の転倒防止・落下防止の減災効果

- 調査時（H25.6）の26.2%から実施率100%になると

約7分の2（28.6%）に減少
（47人→14人）

◎ 風水害による直接死を防ぐ

風水害＝進行型災害

○時間の経過とともに状況が悪化する。言い換えると、**予測できる災害**です。

◎ **事前の準備と早め早めの避難が命を守ります。**

◆ 事前に準備すること

- ハザードマップ等で、災害の種類ごとの自宅のリスク、いざという時の避難先や避難経路を調べておく。（※複数決めておく。）
- 避難を開始するタイミングを決めておく。
- 気象庁が発表する天気予報やキキクルや市が発令する避難情報の入手方法を調べておく。

早めの避難が必要な理由

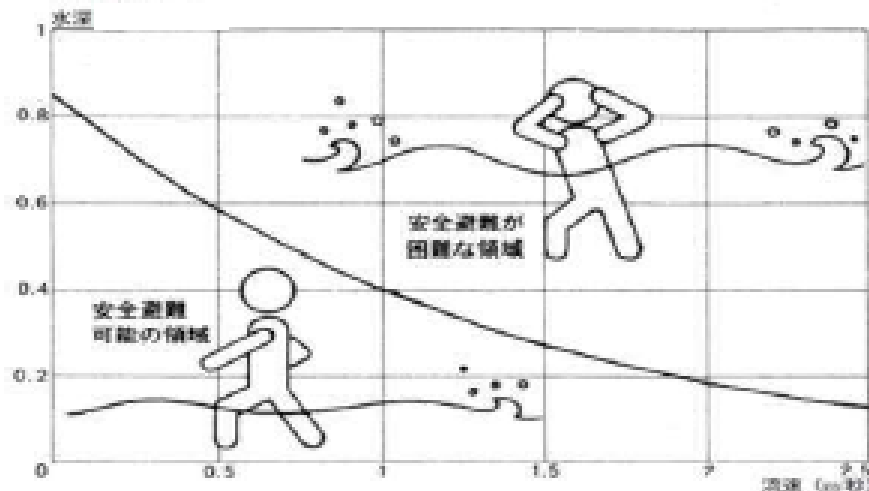
雨が強くなる前・暗くなる前 **早めの避難を！**

イラスト出典：常総市ハザードマップ避難時の心得

◆避難行動時の危険性

【実験データ】

浸水深が0.5m（大人の膝）程度で、氾濫流速が0.7m/s程度でも避難は困難となります。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

【氾濫水は濁っている】

氾濫水は、茶色く濁っており、水路と道路の境や、ふたが開いているマンホールの穴は、見えません。

やむを得ず水の中を移動するときは、棒で足下を確認しながら移動しましょう。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

【洪水氾濫時の移動困難事例】

平成24年7月九州北部豪雨での
沖端川の堤防決壊で氾濫流により
移動が困難となっている。

水深は、ガードレールとほぼ同
じ高さに氾濫水の水面があること
から0.5m～0.6mと推算される。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

水深90センチ……車が浮きはじめる

水深60センチ……水圧でドアが開かなくなる

水深30センチ……エンジン停止の可能性

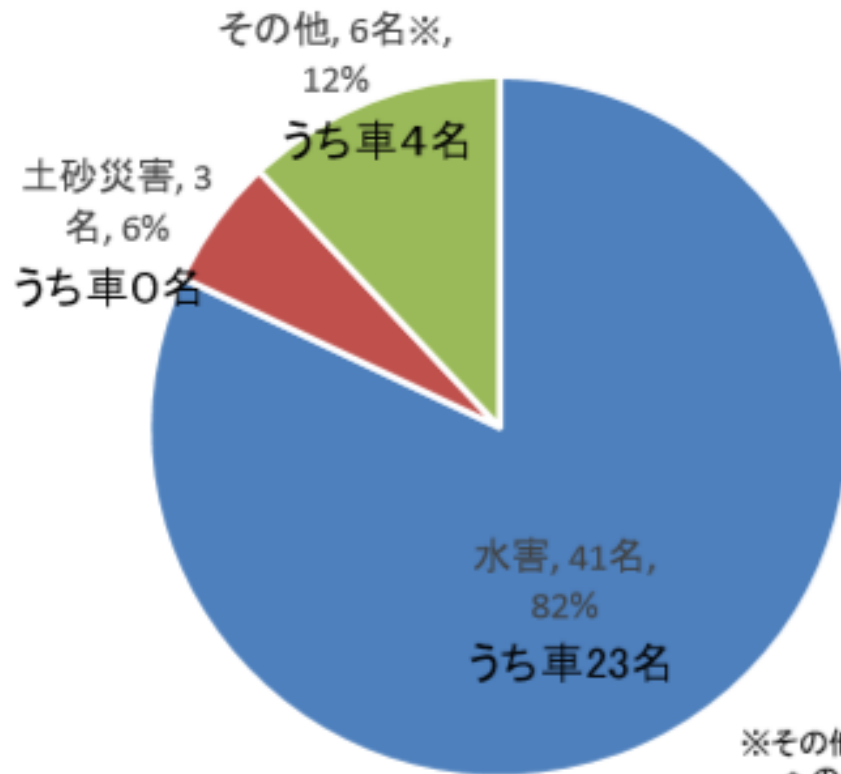


アンダーパスは、とても危険！

正しい避難行動と早めの避難が、いのちを守る！

令和元年台風19号被害状況

屋外での死者(50名)(災害種別)



- ・水害は屋外での被災が多い
- ・水害の死者の半数は車移動中
- ・50代以下の比率が高い



- ・早期の避難
- ・車での避難
- ・浸水時の避難行動

※その他に区分する死者は、車移動中の道路陥没箇所への転落による死者3名及び強風による死者3名

屋外で亡くなられた方50名のうち、車での移動中が約半数超(27名)を占める。

正しい情報を入手して、いのちを守る！

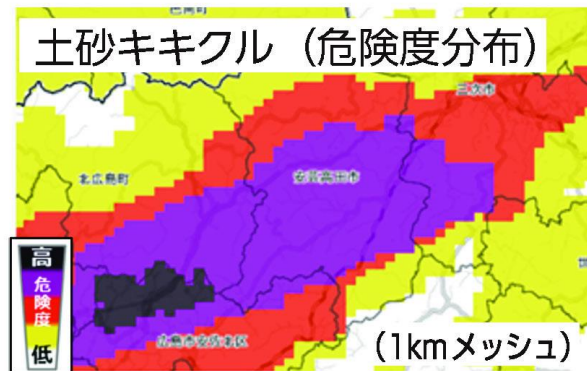
■ キキクル(危険度分布)で、お住まいの地域の状況を確認しましょう

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報*が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる情報「キキクル(危険度分布)」を確認してください。 **紫の段階では、既に災害のおそれが高まっている状況です。**

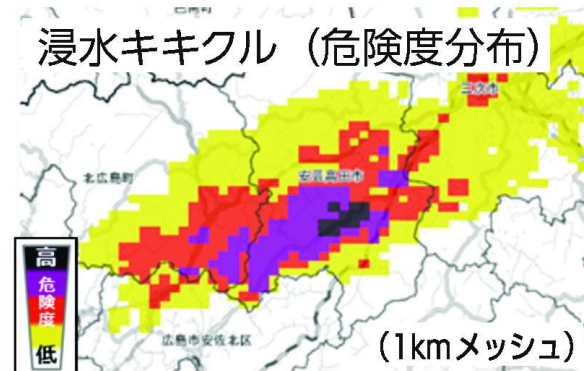
住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。

キキクル

検索



崖・溪流の近くは危険

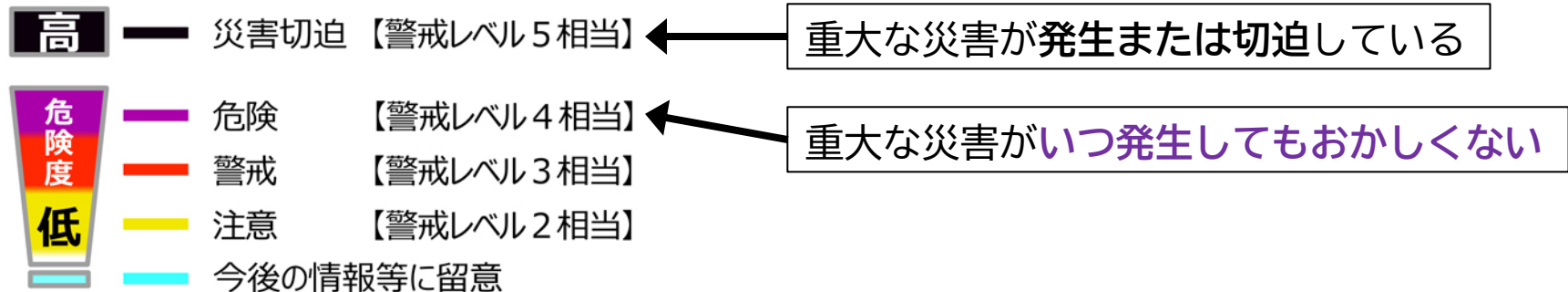


低地は危険



河川沿いは危険

※市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報などがあります。



市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4(避難情報)で 必ず避難しましょう

気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に 早めの避難をしましょう

避難情報等 (警戒レベル)

警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~			
<b>4</b>	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
<b>3</b>	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
<b>2</b>	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
<b>1</b>	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

### 河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)

防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
	浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
<b>5 相当</b>	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
<b>4 相当</b>	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
<b>3 相当</b>	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
<b>2 相当</b>	氾濫注意情報	——
<b>1 相当</b>	——	——

市区町村長は、**河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)**のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に**避難情報等(警戒レベル)**の発令判断をすることから、**警戒レベル**と**警戒レベル相当情報**が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

# 《分散避難》避難とは、「難」を「避」けること

## 行政が指定した避難場所 への立退き避難

自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ 等

小・中学校

公民館

普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

## 安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難  
することを相談して  
おきましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。

親戚・知人宅

## 安全なホテル・旅館 への立退き避難

通常の宿泊料が必要  
です。事前に予約・  
確認しましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。

ホテル

旅館

## 在宅避難

ハザードマップで以下の  
「3つの条件」を確認し  
自宅にいても大丈夫かを  
確認することが必要です。

--- 想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある  
区域では立退き避難が  
原則です。

ここなら安全！

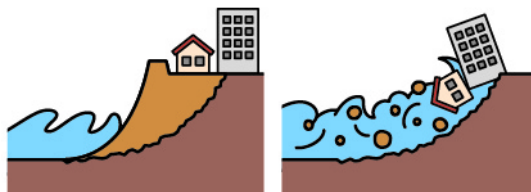


# 在宅避難を選択 するための 3つのポイント

## ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない (入っていると…)



流速が速いため、  
木造家屋は倒壊する  
おそれがあります



地面が削られ家屋は  
建物ごと崩落する  
おそれがあります

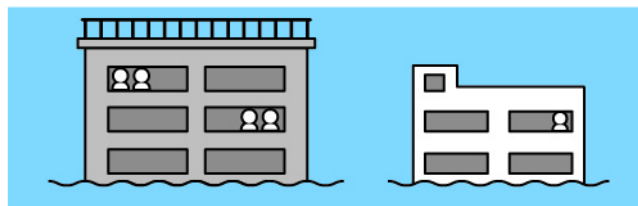
## ② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

## ③ 水がひくまで我慢でき、 水・食糧などの備えが十分

(十分じゃないと…)

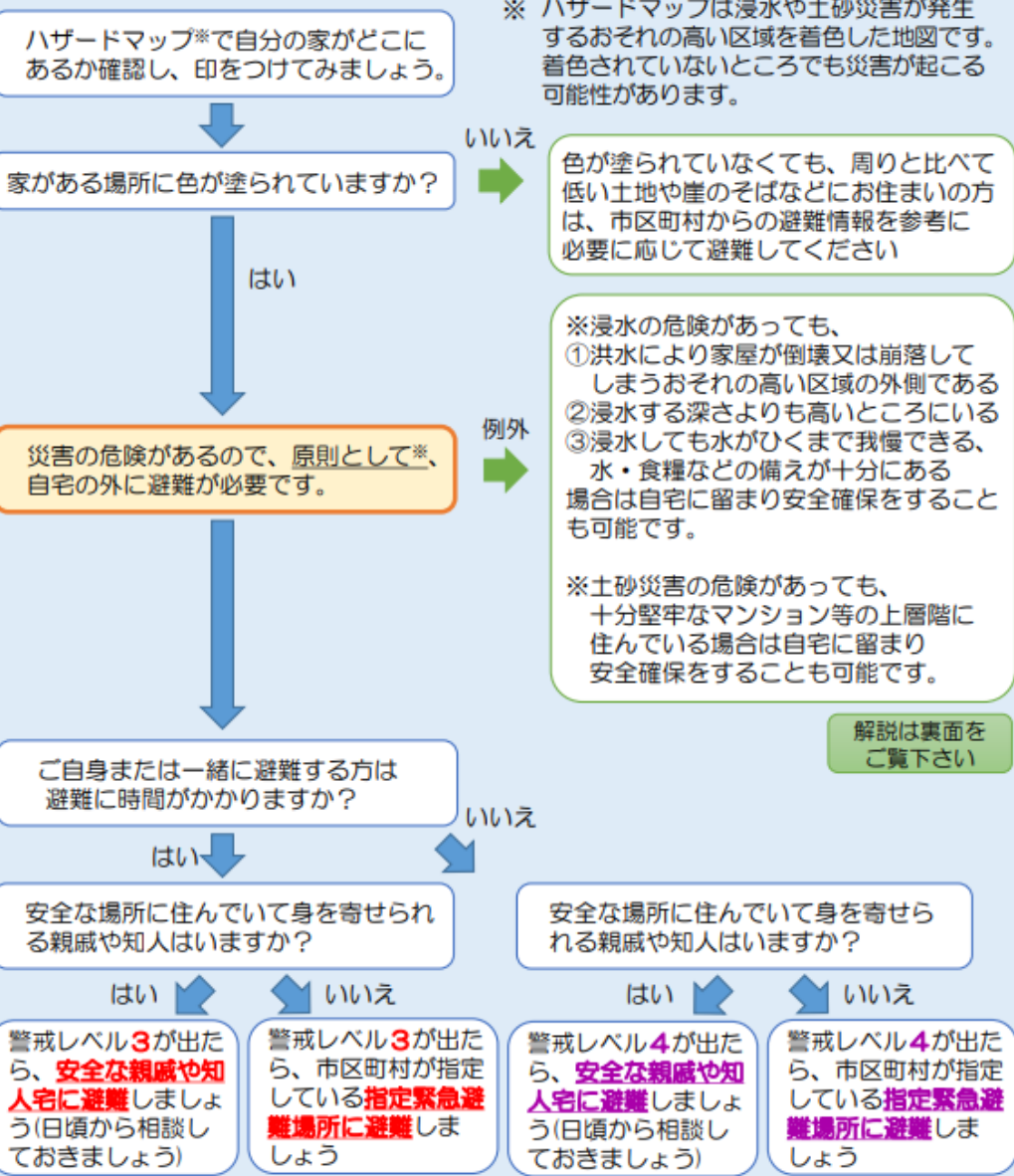
水、食糧、薬等の確保が困難になる  
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の  
使用ができなくなるおそれがあります



# あなたがとるべき避難行動を調べるツール

## 避難行動判定フロー

### ●あなたがとるべき避難行動は？ <必ず取組みましょう>



- 警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、危険な場所から避難しましょう。
  - 「避難」とは「難」を「避」けることです。
  - 安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
  - 避難先は、市が指定している避難場所だけではありません。
  - 安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。
- ◎ 躊躇せず避難するようにしましょう！



内閣府 Cabinet Office, Government of Japan

### 防災情報のページ

[https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/](https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/)

知って備える

# 「対策を考える！」

“事前の備えでリスクを減らす！”

備えあれば患い無し！

憂い無ければ備えなし！

# ☆ 〈自助の力〉 命を守る。『自分の命は自分で守る』ことは、自助の基本

## 災害が起きる前にできること

〈出典：首相官邸ホームページ〉



### ● 防災知識の習得

- ☞ 災害種類ごとのリスク、**命を守る方法**
- ☞ ご家族同士の安否確認方法 など

### ● 自宅の安全化

- ☞ 住宅の**耐震化**、家具等の**転倒・落下・移動防止**、ガラス製品等の**飛散防止**、家具等の**配置の工夫**

### ● 水・食料・物資等の準備

- ☞ 食料・飲料、生活用品等の**備蓄**
- ☞ 非常持ち出しバッグの準備

# ☆ 〈共助の力〉 命を助ける。その命をつなぐのは、地域（コミュニティ）の防災力

## ○「自助」のみでは限界がある

- 人命救助は3日（golden72hours）が勝負
- 阪神淡路大震災の時、救助された人の約95%は、自力又は家族・隣人だった。

## ○自分たちの町は、自分たちで守る！

- 隣近所の力の方があてになる（即応性）
- 共助の基本的な姿は、**自主防災組織**



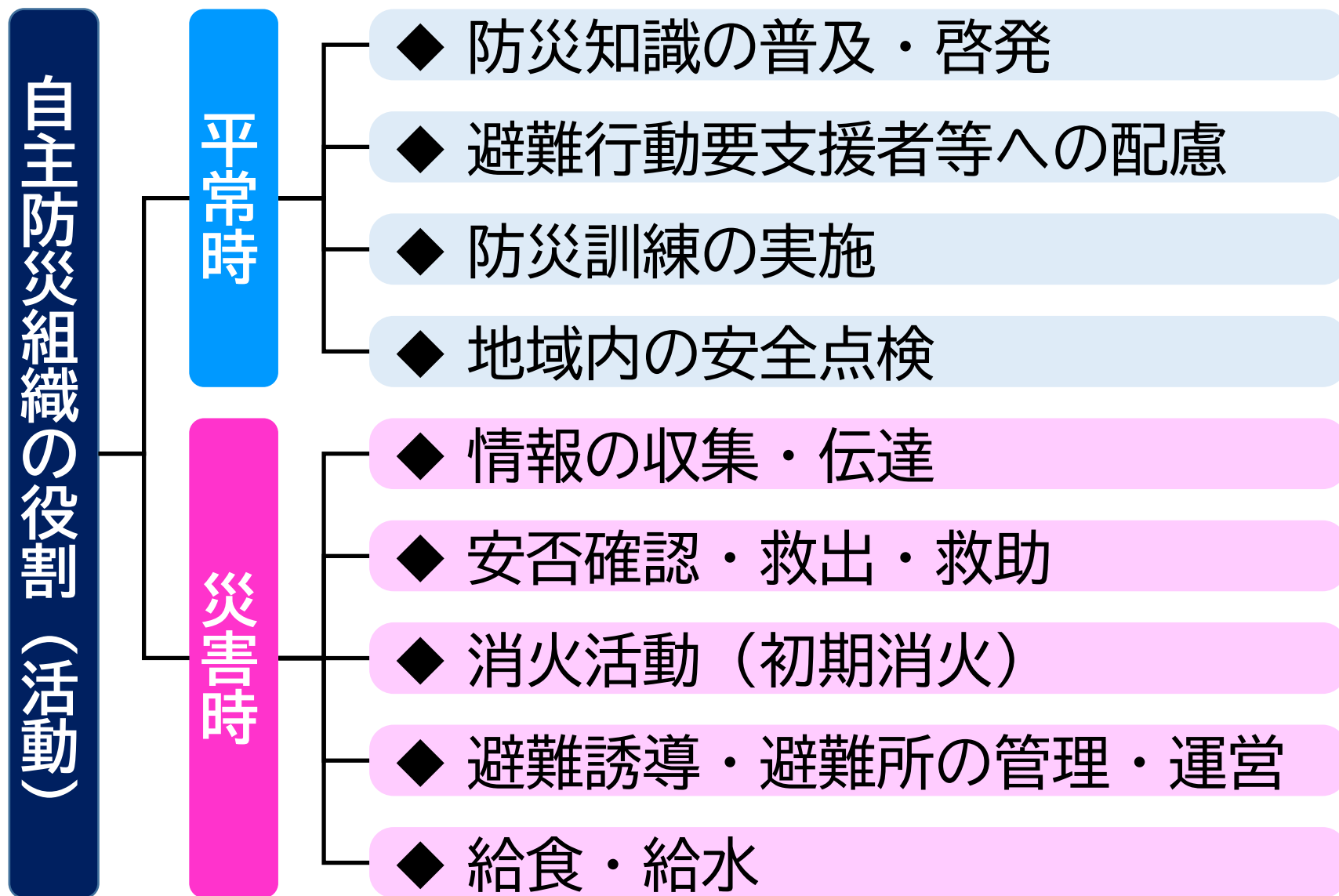
## 自主防災組織とは、

○災害対策基本法第2条の2第2号において規定されている**地域住民による任意の防災組織**



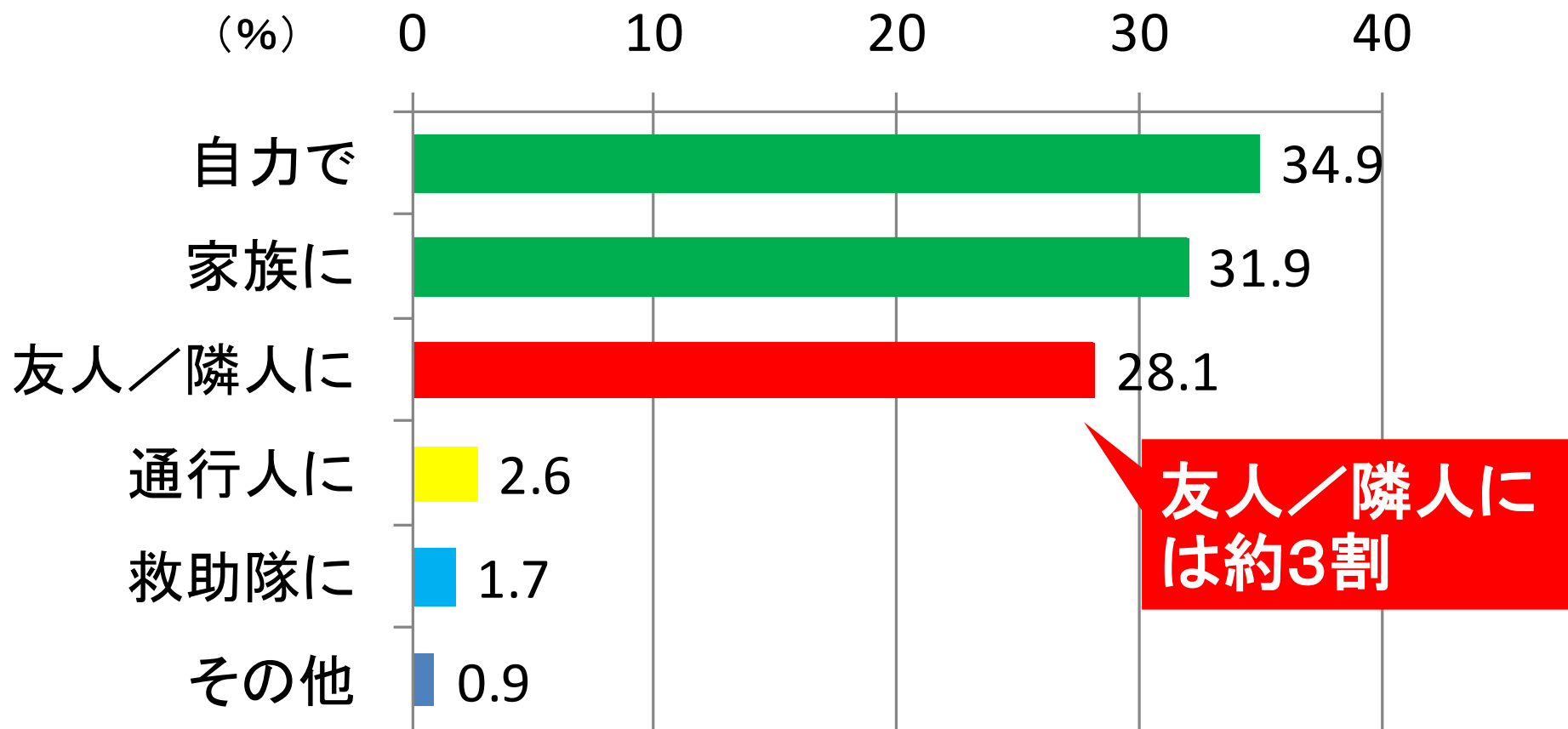
**同じ地域に住む者同士が連携し地域の力を結集**して災害に備え、災害対応にあたるほうが、災害に対して強くなれるという考え方を形にしたもの

## 自主防災組織の役割（活動）



## ● 阪神・淡路大震災における救助活動

- ✓ 倒壊家屋からの救助のうち、友人/隣人と回答したのは約3割



## 災害関連死について（H28 熊本地震）

※資料は、平成29年12月末時点 震災関連死197人（R6.2.13現在 223人）

### 1 死亡時の年代

	0~9	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	合計
人数	2	1	0	4	1	9	27	41	70	39	3	197
割合	1.0%	0.5%	0.0%	2.0%	0.5%	4.6%	13.7%	20.8%	35.5%	19.8%	1.5%	

70代以上の方が153人で、**高齢者が全体の約8割**を占めている。

### 2 既往症の有無

	あ り	な し	不 明	合 計
人 数	172	19	6	197
割 合	87.3%	9.6%	3.0%	

何らかの既往症があった方が、約9割となっている。

# 【共助】 共助の重要性②「災害弱者を守る」

内閣府が作成した「災害関連死事例集（R5.5増補）」によると、

## ○ 70歳以上の死亡者

☞ 東日本大震災：約82%、熊本地震：約78%

## ○ 原因（熊本地震）

☞ 避難生活の肉体的・精神的負担（被災のショック等を含む）約69%

あの人．．．

- トイレに行けてないみたい
- 食事がそのまま残っている
- ずっと同じ服を着ている
- 今日も一人でぼうっとしてるなど

気づいてあげること



声をかけてあげること



# ○ 普段から災害に強いコミュニティを作ろう

過去の災害の教訓から発災時に頼りになるのは、

## “遠い親戚より近くの隣人”

- **共助（近助・互助）**を円滑にするためにも、地域で行われる防災訓練、防災説明会、ワークショップなどに参加しましょう！



# 色々な防災訓練やイベント

地域を防災的な視点から点検し、防災マップを作製

**防災  
まち歩き**

防災クイズに答えながら街中を歩き、地域の防災について学ぶ

**防災ウォーク  
ラリー**

実際の街中を会場として防災訓練を実施する

**まちなか  
訓練**

担架による荷物運び競争や土のうづくり競争など、「防災」の視点を取り入れた運動会

**防災  
運動会**

**クロス  
ロード**

災害時に発生する様々な問題について検討しあう

**DIG(災害  
図上訓練)**

想定した災害について、地図上で災害対応について話し合う

**本部運営  
訓練**

**避難  
訓練**

**炊き出し  
訓練**

**給水  
訓練**

**HUG  
(避難所  
運営ゲーム)**

**避難所  
運営・  
宿泊訓練**

他の訓練現場を見学することで、訓練の準備や進め方などの理解が深まります

# 地区防災計画を作ってみませんか！

平成25年6月に災害対策基本法が改正され、市町村の一定の地区内の居住者及び事業者（地区居住者等）による自発的な防災活動に関する「地区防災計画制度」が創設されました。

本制度は、市町村の判断で地区防災計画を市町村地域防災計画に規定するほか、地区居住者等が、市町村防災会議に対し、**市町村地域防災計画に地区防災計画を定めることを提案することが出来る仕組み**（計画提案）を定めています。

**地区防災計画の策定**を通じて、自主防災組織や消防団・水防団等これまでも地域で活動している人々に加え、地区の住民や事業者が協力し、**地区の防災力向上に向けた実践的なルールをまとめ、共有**することができます。

# 地区防災計画とは？

## 密着性

- ・何よりも自発的に取り組む

## 連帯性

- ・みんなで力を合わせ展開する

## 率先性

- ・地域の実情に即して考える

## 地区 防災計画

## 日常性

- ・日常のコミュニティ活動として展開する

地域の課題を具体化し、  
解決方法を盛り込む

- ◆ 地域の特性を反映しつつ地域の強みを生かした防災計画
- ◆ 自分ごととして感じられる手づくりの防災計画

# 地区防災計画の作成に向けた考え方

- ◎ 地区防災計画は、あらゆる世代が安心して暮らせるための共助の取組
- ◎ 作成自体が目的ではなく、命を守るための地域行動力の確保が重要（実効性の確保）
- 地区防災計画は小さく産んで大きく育てる
  - ☞ たとえば、命を守ることだけの小さな地区防災計画を作成し、その後計画を修正・追加等を繰り返して拡充（大きく）していく。
- 活動の実効性を確保する多様な主体との連携
  - ☞ 行政関係者以外にも地域の消防団、民生委員、各種地域団体、ボランティア、企業等を巻き込む。
  - ☞ 防災「だけ」ではない、防災「も」のアプローチを取り入れる。
- 市は計画の作成推進のために伴走支援を実施します
  - ☞ 住民だけで計画作成を行うことには限界があり、市の支援は不可欠。
  - ☞ しかし、形だけの地区防災計画を作成しても、いざという時に行動できない実効性を伴わないものとなる危険性。
  - ☞ みなさんが主体となり、市はそれに寄り添う伴走支援を実施します。

# 自分たちの命は、自分たちで守る

**死ぬな！  
逃げろ！  
助けろ！**

西条市の防災対策合言葉



**正しく恐れ、**

**「日頃から備える」**

**「行動すること」**

**ことが重要です**